新京日日新聞
夕刊 十二月二十一日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月五拾錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三一〇 營業局專用(3)三三一五
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

空軍部隊の猛撃で 太原の前衛悉く潰ゆ

池上部隊心臓部目指し進撃

【天津廿一日發國通】峻嶮峨々たる山西方面および正太線における皇軍の進撃を積極的に援助し日々猛烈なる空爆を敢行しつゝあるわが陸の荒鷲部隊の廿日における空爆狀況左の如し

先づ正太線方面においては省境を越えて敵の堅固なる牙城に難行を續けて肉薄するわが鯉登部隊の進撃を掩護すべく廿日午前十一時卅分わが中富部隊〇〇機はわが地上部隊前面の敵陣地たる新關を爆撃、ついでその後方陽泉驛を運行中の敵部隊滿載列車を爆破し更に同日午前、午後の二回にわたり上田、鳥田部隊〇〇機は新關の西南方槐樹舖、固、芦澤關の敵陣地を爆撃甚大な損害を與へ、また同蒲鐵道方面においては島田、島谷、後藤、佐々各部隊は太原西南方汾陽ならびに附近の敵飛行根據地を爆撃した、この連日にわたる空爆で敵軍の動搖甚だしくわが地上部隊は着々太原の心臟部目指して進撃の歩を進めてゐる

城内避難民でごつた返す

【原平鎭廿日發國通】山西軍の本據たる太原陽曲城はわが空軍の數次にわたる爆撃で敵が難攻不落と誇つた忻口山陣地陷落もたゞ時刻の問題となつてゐる結果陽曲城内は避難民でごつた返し、南方に通ずる各街道は避難の人馬で大混亂を呈してゐる

京漢線追撃隊 漳河敵前渡河を決行

【双廟廿一日發國通】漳河鐵橋爆破によつて前進不可能となつたわが列車追撃隊は、十九日から河を距てゝ有力な敵部隊と對峙、迫撃砲、機關銃戰を演じてゐたが、疾風の如き遠山、森田の兩追撃隊の進撃は止まるところを知らず、遠山部隊は廿日午後四時半双廟を出發〇〇地點より漳河急流の敵前渡河を決行、對岸の敵を撃滅すべく南方に向つて進撃を開始した、なほ豊樂鎭、彰德の敵は石家莊、元氏、邯鄲などの敗走兵をこの方面に集結したものらしく、情報によれば、その一部は彰德より黃河に向つて退却しつゝあり

列車追撃隊による 敵の打撃は甚大

【天津廿日發國通】わが遠山の列車追撃隊が磁縣以南漳河々岸に出づる間において敵に與へた打撃は極めて甚大なものあり、敵の遺棄死體のみでも千五百を下らぬ模様である

德州、黃河涯に 敵機飛來 猛撃に忽ち遁走

【德州廿日發國通】廿日午後二時四十分頃敵のノースロップ型輕爆五機が突如平原上空に機影を現はし、高度約二千米から爆彈五個を德州驛東方及び南方各五、六町の地點に投下した、うち三發は不發に終り他は炸裂したがわが方の人馬は勿論軍需器材にも些かの損傷もなかつた、報告をうけた待機中のわが〇〇機は直ちに出動敵機を追撃したが、惜しくも長蛇を逸し空軍勇士は地團駄踏んで口惜しがつた、なほ同三時半頃にも黃河涯上空に敵機二機が現はれたがわが方の對空射撃に忽ち遁走した、因みに津浦線の空襲はこれで二度目である

各地戰況（廿一日朝まで）

▲京綏線方面 內長城線を突破して南下、駒を山西高原に進めた快速察哈爾作戰軍は太原省城攻略後の護り忻口鎭の要害攻略中で、一週間にわたる空陸の猛攻に敵の死傷數萬に上り皇軍の手に歸した忻口山は傘山敵の死體をもつて埋つてをり、如何に壯絕なる攻防戰が展開されてゐるかゞ窺はれる、孤城落日の太原城內は連日の空襲と忻口鎭突破近しの報に今や大混亂に陷つてをり、省民は敗殘兵とゝもに南へ南へ省城を捨てゝ避難してゐる

▲京漢、津浦線方面 漳河大鐵橋まで進撃したわが快速列車追撃隊は二十日午後四時頃より急流漳河の敵前渡河を敢行して當面の敵を撃退同鐵橋を確保、鐵道隊は晝夜兼行彈丸雨飛の中に鐵橋修理中である、津浦線追撃部隊の南進を阻止すべく韓復渠軍は黃河々畔に大軍を集結し、小[illegible]も廿日午後二時四十分、同三時半の二回に亘り空襲し來つたがわが對空射撃に遭つて遁走した

▲中南支方面 上海戰線〇〇クリーク對岸の敵陣も肉彈戰の結果廿日午前十一時遂にわが手に歸した、同クリーク一帶の陣地は實に皇軍の血と肉とをもつて奪取したものであるが、陸海空軍の適切〇〇なる掩護爆撃も亦大いに力あつた 皇軍前面の敵陣も連日航空部隊の爆撃で逐次粉碎され

新疆英勢力地域に ソ聯機侵入空爆か

英ソの摩擦注目さる

【東京國通】新疆省境へのソ聯の侵略ぶりは最近富に猛烈を極めつゝあり、新疆南方西藏方面から壓迫しつゝある英國勢力と北方蒙古方面より蠶食せんとするソ聯勢力との摩擦は注目に値するものがある廿日夜印度方面よりの情報によれば、本月中旬ソ聯機約十五機は赤軍の陸上部隊と呼應し新疆省西南方面（英國の勢力地域）に侵入、カシュガルヤルカンドを占領し、インギラール市は完全に爆破され、ヤルカンド、カルガリック、グーマン、ホータンは多大の損害をうけ、ホータンも亦占領せられた、この空襲は從來迪化に駐屯してゐたソ聯機ではなく本國から飛來し來つたものであり、非戰鬪員無防備爆撃の赤軍飛行機の非人道的行動は目に餘るものがあつたと傳へられる

毒瓦斯彈炸裂中を 前進し敵陣奪取

敵軍の毒瓦斯彈使用依然旺ん

【上海廿一日發國通】廿日の〇〇線攻撃に際し敵が不法にも毒ガス彈を使用しわが將士が被害を蒙つた事實がある、即ち〇〇戰線攻撃は廿日午後一時廿五分開始された、勇敢なわが兵はいづれも眞ッ裸となり、或ひは夏服のまゝ前進クリークに水びたしとなつて彈丸雨飛の中を鐵條網を破り敵陣地に突入すればこの時敵陣地よりパッと眞上にあがつた砲彈が地上に炸烈するとみるや煙のやうなものが風に乘つて四圍にひろがる、前進中のわが兵は忽ち眼が痛み息がつまるやうに感じたので直ちにガス面を使用し突撃前進を續けて敵の陣地に突撃したのでさしもの敵も算を亂して潰走、激戰一時間餘にして〇〇村の敵陣地は見事わが方の手に歸したのである、この戰鬪で敵の死體は壕を埋める程であつたが、わが方にも中澤少尉以下相當の損害を受けた

逆風に敵困却

【上海廿一日發國通】廿日〇〇村の激戰にて敵は突撃するわが兵に對し毒ガス彈を發射し、わが方の攻撃を鈍らせやうとしたが皮肉にも風は東南より敵の方向に向つて吹き、且つわが軍は防毒面の使用により殆んど被害はなかつたがわが方の偵察結果窒息性催涙性ガス彈と判明、これまでガス彈を後方に投下せしめたこともあつたが第一線の戰鬪最中毒ガスを使用するは上海戰爭初の事で〇〇當局も敵の非人道振りに呆れ憤慨してゐる

海軍機全面的に 各要所を大爆撃

南昌では敵一機撃墜

廿日の空襲においてい南京、蘇嘉鐵道北栅驛、滬杭甬鐵道、松江鐵道、七寶鎭、眞茹砲臺、閘北の各敵陣ならびに軍事要地は覆滅、首都南京の防空砲陣もわが猛鷲空軍の爆撃に今や氣息奄々海軍航空隊のため敵機の今日までに受けし損害實に三百六十五機に上り、中南支は勿論、全支の制空權は完全にわが空軍の手中にあり

【上海廿一日發國通】廿日午後九時半艦隊報道部發表

一、國定中尉の率ゐる部隊は廿日午後二時半蘇嘉鐵道北栅驛を爆撃、停車中の機關車を粉碎、軍用列車數輛を炎燒せしめ、川村兵曹長の率ゐる部隊は滬杭甬鐵道、淞江鐵道を爆破して停車中の機關車、貨車數輛を爆破せり、金田兵曹長の率ゐる部隊は眞茹方面の敵砲臺陣地を爆撃、砲四門を粉碎せり、又市原部隊長の率ゐる部隊は閘北を爆撃、敵陣地に大損害を與へたり

二、廿日午後二時頃わが海軍航空隊は十九日三回の空襲に大損害を蒙むれる南京大校場飛行場を空襲、飛行場及び兵營に多數の直撃彈を命中せしめ大損害を與へたり、南鄉大尉の率ゐる航空部隊は敵航空機の出現するものなく悠々上空を飛翔しこれを制壓せり、わが航空機は全機歸還せり

三、牧野中尉の率ゐる部隊は午後四時七寶鎭の大橋梁を爆撃、見事なる直撃彈數個をもつて完全に爆破せり

【〇〇廿一日發國通】わが海軍航空隊〇〇機は須田佳三少佐總指揮のもとに〇隊編隊をもつて二十日午後六時五十分日沒を期し大擧江西省の南昌を空襲、飛行機修理場、機械學校、舊飛行場の格納庫、兵舍に大爆撃を敢行した、全彈命中して何れも大火焰を起し黑煙濛々として天に冲し大々的損害を與へ全機無事基地に歸つた、この日敵はわが空襲の報に接したが戰鬪機は南昌上空五千米の高度に待機して挑戰し來つたが、わが全機は編隊も鮮かに應戰し忽ち一機を撃墜、二機を撃退した後悠々〇隊に分れて爆撃したものである

敵陣に突入して 忽ち敵を殲滅

壯烈山下少尉の戰死

【上海廿一日發國通】〇〇部隊前面の敵部隊はわが猛烈なる攻撃に對して側面より頑強に妨害を續けつゝあるため十九日午後二時砲兵の協力のもとに午後四時山下〇隊は戸田〇隊の側面掩護攻撃を得つゝ果敢なる進撃を開始敵前八十米に達するや戸田、山下兩隊は喊聲をあげて突撃に移り鐵條網を乘越え敵陣に殺到、縱橫無盡に突きまくり、更に潰走する敵に對して機銃の掃射を浴せてこれを全滅せしめた、この戰鬪において山下少尉は敵前八十米の地點において大腿部に負傷したが、部下が後送しようとするのをきかず部下の脊中に負はれつゝ陣刀をふりかざして敵陣に突入掩蓋壕內の敵に組付いて刺殺したるのち立上らんとする一瞬又もや流彈に胸部を射たれ壯烈な戰死を遂げた、山下少尉は宮崎縣南那珂郡都井村出身、又戸田少尉は側面より敵陣に部下と共に突入した刹那手に數發の機銃彈を浴び倒れたが屈せず陣刀を杖になほも前進數歩の後遂に力盡き「天皇陛下萬歲」を絕叫しつゝ息絕えた、戸田少尉は鹿兒島縣伊佐郡本城村出身

敵の機銃を奪ひ 敵陣を掃射

【〇〇廿一日發國通】〇〇部隊長は十九日午後二時頃部下を率ゐて〇〇前線前面の敵を攻撃自ら陣頭に立ち寒河江與四治少尉を從へてクリークに飛び込み敵の機銃座に上つてこれを奪取敵の機銃をもつて自ら射撃中飛び來つた敵彈のため兩名とも名譽の戰死を遂げた、この兩勇士の勇奮が遂に今日の〇〇占領を成功せしめたもので、この武勇はいたく賞讃されてゐる、兩勇士とも留守宅は仙臺市

井上隊長戰死

【上海廿一日發國通】〇〇部隊麾下の井上尹人隊長は十九日〇〇附近の第一線にたつて敵狀を偵察中飛び來つた敵迫撃砲彈のため名譽の戰死を遂げた、井上隊長は動員下令に際の中心となつて〇〇隊整備のため不眠不休努力せる誠實の人留守宅は仙臺市にある

佐藤一等兵 敵兵を捕虜とす

【上海廿一日發國通】〇〇の激戰に際し〇〇部隊の佐藤勝造一等兵（宮城縣出身）は壍壕中で我が方の突撃に手榴彈を投げつけ頑强に阻止してゐる敵兵があるを發見、右腕に重傷を負ひながら頑敵に飛びつき砲火の下で格鬪すること十分餘敵兵は見事佐藤一等兵のため捕虜となつた、戰鬪一段落後太陽も西に傾く頃自分が捕へた捕虜の腕をとつて〇〇司令部まで朗かに後送する佐藤一等兵の姿が見られた

廣東海軍は全滅

【軍艦〇〇にて廿日發國通】帝國海軍では事變以來完全に制海權を把握して磐石の重きを示してゐるが、支那海軍が時たま機械水雷、魚雷艇等を使つて挑戰し來るため見つけ次第之を擊滅すべく嚴戒してゐるが、支那海軍中廣東省攻防司令馮灼勳麾下の舊廣東海軍は抗日戰意も熾烈で、麾下の艦艇約廿五隻は廣東虎門の要塞深く逃避し、珠江々口を沈沒船や機雷艇で自ら封鎖しその勢力保持に汲々としてゐた、然るに去る九月十四日わが方の虎門攻撃で巡洋艦二隻を擱坐せしめられ、更に十月上旬にはわが海軍航空隊の猛襲に新たに巡洋艦、魚雷艇と約十隻を擊沈され、現在は珠

その日く

□ 支那の國民は先づ救國公債ボイコットで、南京政府への反抗を示し始めた

□ 宋子文あたり、宜しく私財を投じてこれを買つて然るべきであらう

□ それとも公債押し付けに、督戰隊みたいなものでも使ふか

□ 黑人が皇軍に獻金してゐる時、大統領が實際陳ねるはアメリカの悲劇に見える

□ 二十萬滿鐵社員が空軍におくる二機、やがて飛翔の日派遣同僚へ意氣もがあらう

海軍慰靈祭に 張總理、星野長官弔電

廿二日橫須賀、佐世保兩鎭守府において今次事變の海軍戰歿勇士慰靈祭が行はれるので、張國務總理、星野總務長官は廿一日兩鎭守府副官氣付で合同葬儀委員長に宛て左の弔電を發した

△張國務總理弔電 今次事變に當り壯烈なる戰死を遂げられたる烈士の合同葬儀を執行せらるゝに當り謹んで深甚なる弔意を表し勇魂の御冥福を祈る

△星野長官弔電 今次事變に當り壯烈なる名譽の戰死を遂げられたる烈士の合同葬儀を執行せらるゝに當り、痛惜の至りに堪へず、謹んで弔意を表し英靈の御冥福を祈る

湖南の要地 〇〇驛を爆撃

【〇〇廿一日發國通】中村友男中尉の指揮する〇〇部隊は廿日午後一時頃遠く粵漢線上湖南の要地〇〇驛を爆撃し敵に多大の損害を與へ夕刻無事歸還した

漳河南岸に進出

【天津廿日發國通】京漢線を挾んで漳河北岸地區を確保し得たわが先鋒部隊の一部は、廿日早朝破壞された漳河鐵橋に殘存する橋脚を傳はりつひに南岸に到着、漳河鐵橋を確保した

在米同胞の獻金

東部地方で一萬弗突破

【ニューヨーク廿日發國通】在米同胞の愛國獻金熱は日を追つて白熱化しつゝあるが、ニューヨークを中心とする米國東部地方在留邦人の愛國獻金額は二十日までに既に一萬弗（邦貨約三萬五千圓）を突破した、內譯左の通り

△ニューヨーク日本人會四千七百五十八弗、△ニューヨーク日本倶樂部二千六百八十四弗、△ニューヨーク報國團二千五十八弗、△ニューヨーク總領事館宛寄託七百十七弗、△ボストン日本人會四百七十三弗、△合計一萬六百九十弗

なほ獻金は續々集まりつゝあるが、在ニューヨーク帝國總領事館では第一回分として二十日締切りの分を故國へ送金することゝなつた

後藤隆之助氏

滿洲視察中の昭和研究會後藤隆之助氏一行三名は二十一日午前七時の列車で來京ヤマトホテルに投宿した

人事往來

着京

▲柳町精氏（泰東日報）二十日來京ヤマトホテル
▲泉芳政氏（哈市地方法院次長）同
▲吉出光三氏（貿易商）同國都ホテル
▲石原次郎氏（關東州廳）同
▲高松藤治郞氏（建築業）同
▲本山菊壽氏（官吏）同
▲高田邦之助氏（朝鮮商工會社）同
▲原田耕作氏（同）同
▲小口花三氏（同）同
▲中村清七郞氏（同）同
▲恒屋漸氏（中村汽船）同
▲酒井常一氏（商業）同國際ホテル
▲江廣篤氏（同）同
▲柏田忠一氏（辯護士）同滿蒙ホテル
▲水谷榮石氏（アジア商事）同
▲桂西郞氏（商業）同中央ホテル
▲齋藤安次郞氏（貿易商）同蓬萊ホテル
▲柏原一馬氏（滿鐵社員）同
▲三原次郞氏（同）同
▲藤森龍雄氏（同）同
▲河野正明氏（官吏）同
▲吉村武市氏（同）同
▲池田松三郞氏（滿洲航空社員）同富士屋旅館
▲中井健次郞氏（商業）同
▲飛田康造氏（官吏）同

出發

▲淸水本之助氏 二十日東京へ
▲木下隆二氏 大連へ
▲長谷川太郞吉氏 東京へ
▲原正五郞氏 奉天へ
▲佐藤寬太郞氏 圖們へ
▲坂本龍記氏 奉天へ
▲增田千里氏 大連へ
▲岡田秋太郞氏 延吉へ
▲花石市太郞氏 奉天へ
▲安本明治郞氏 同
▲本村一郞氏 同
▲藤田正信氏 同
▲後藤善也氏 哈市へ
▲川部政一氏 奉天へ
▲小村淸三郞氏 大連へ
▲本村仁一氏 奉天へ
▲杉山虎太氏 公主嶺へ
▲西尾保雄氏 哈市へ
▲今市鐵介氏 大連へ
▲川井喜八氏 京城へ
▲寺島寬太郞氏 遼陽へ
▲稻生次郞氏 同
▲森田交一氏 同
▲松尾晴見氏 奉天へ
▲川村五郞氏 同
▲上野光一氏 大連へ
▲廣岡卯三郞氏 哈市へ
▲嶋永利弘氏 同

ウインタースポーツ シーズン近づく
滿鐵運動會支部が組んだ 華麗スケジユール

…やかな陸上競技のシーズンも終りいよいよウホンタースポーツのシーズンに向ふので滿鐵運動會新京支部では廿二日午後二時から支社會議室で幹事會を開き本年のスケヂユール其他につき協議することになつたが會員券は前年通り期間券大人二圓、滿鐵社員及び軍人婦人學生は一圓五十錢兒童一圓、臨時券は大人二十錢、兒童十錢となる模様でスケジユール豫定も左の如く承認されるものと見られる

スケート場開 十一月二十五日
初心者講習會 一週間
ホツケ小會 十二月四日
スピード記錄會
全滿B級選手權大會新京豫選並種目別新京選手權大會 十二月十一日
全滿B級選手權大會 十二月二十六日
全滿選手權大會（於奉天）
全滿種目別選手權大會（於撫順）
滿鮮對抗大會（於安東）
戸外週間スケート大會
新京一般對學生對抗試合 一月下旬
新京市民選手權大會（年齡別）都市對抗新京豫選會 二月上旬
學童（新京）大會 二月上旬
第四回全滿都市對抗氷上大會 二月中旬
納會 （二月下旬）

交通界の革命兒 路面列車現る
近く新京、奉天間を試運轉

鐵道總局自動車課では全滿自動車路線の劃期的發達を期するためロードトレーヤ（路面列車）の運轉を計畫種々研究を進めて來たが、いよいよ右研究も完成をみるに至つたので目下同和自動車會社に依頼し組立中で近く完成の上奉天—新京間の試運轉を開始することになつた、この路面列車は一臺のトラクターをもつて四輛乃至五輛の客貨車を牽引し自由に道路上を疾驅する謂はゞ無軌道列車とも稱すべきもので、トラクターの性能はヂーゼル發電裝置百五十馬力、速度は平坦路時速五十キロといふ快スピードを有し且つ勾配四分の一までは容易に運轉出來るといふ極めて優秀なものである、なほ右路面列車は目下ドイツにおいて極めて小規模に運轉してゐるほかは世界にその例なく總局では右試運轉の結果大丈夫と折紙がつけば來年度より四ケ年計畫をもつてトラクター四千輛の製造に着手これを全滿自動車路線に配置する計畫で、この交通界の革命兒路面列車の出現は鐵道培養線としての自動車路線の劃期的發達を齎すは勿論世界交通史上に一新エポツクを劃するものとして注目されてゐる（寫眞は路面列車）

家庭防護隊 來月六日結成
防空は先づ家庭から

防空は先づ家庭からの立前に依り創立されることとなつた家庭防護隊は愈よ來る十一月六日結成式を擧行する段取りとなり、其の編成に關して着々準備中であるが二十六日午後六時より關屋特別市副市長がマイクの前に立ちこれが趣旨、編成の一般市民への徹底を計るべく放送をなすこととなつた

双陽縣の一部 あす移讓式

今般新市制の實施と共に新京市に移讓包含せらるることとなつた双陽縣一部の移讓式は

愛國滿鐵機 獻納手續

滿鐵二十萬社員愛國の赤誠は愛國滿鐵機獻納となつて現はれたが社員會幹事長古山勝夫氏は二十一日午前八時十分の列車で來京新京聯合會本島庶務部長、江島副部長らと共に午前十時半關東軍司令部を訪問植田軍司令官を經て陸軍戰闘機一機を同十一時駐滿海軍部を訪問日比野司令官を經て海軍攻擊機一機をそれぞれ獻納の手續を了した（寫眞は上、植田關東軍司令官へ、下、日比野駐滿海軍部司令官へ獻上するところ）

二十二日午後一時より淨月潭に於て吉林省三谷次長、新京特別市長、副市長その他關係者列席のもとに擧行せらるることとなつた

國民歌の 發表演奏會

豫て民生部に於て募集中の時局國民歌はこのほど選歌を終つたので三十日午後七時より特別市關屋副市長主催のもとに記念公會堂に於て發表會を擧行することとなつたが新京混聲合唱團、哈爾濱交響樂團及び滿人有志も參加して盛會が豫想され、放送局では全滿中繼放送を行ひラヂオを通じて國民歌を全滿に發表時局に對する國民の決意を昂揚することになつてゐる

皇帝陛下御料馬 慶雲號新京着

皇帝陛下が今回宮內省下總御料牧場から特に御買上げになつた御料馬「慶雲號」は宮內府技正吉田正氏附添ひで大連經由二十一日午前六時二十分新京驛着宮內府に入つた、同馬はサラブレツト系內國產洋種四歳駒で父はトウルヌソルであるが日滿親善の楔ともいふべきである

滿映の第一期配給 統制案確定す
近く全國常設館會議を開催

滿洲映畫協會では日本映畫の極端なる自由闘爭、或ひは洋畫の利己本位の配給を中斷して、國家的立場から判斷する滿洲映畫協會獨自の配給を實行することになつたが、たゞ當分の間、日本映畫の取扱ひに於ては、永年扱ひ慣れた會社の映畫を成るべく當該館主に配給し極端な變化を避けるもので、映畫の受給は

一、滿洲映畫協會の自家作品（滿人向及び外國人向作品）
二、日本映畫（配給權讓受または選擇購入）
三、洋畫及び支那映畫（選擇購入）

の三者であるが、日本映畫及び洋畫、支那映畫の購入は、滿映新京本社又は東京出張所に於て試寫を行ひ、適當なるものを購入することになつた、また配給方法にあつても、滿映業務部配給課を第一班より第六班にわかち、地域及び常設館の分擔を

第一班 全滿の滿人系映畫館に對する配給を擔當
第二班 全滿及び關東州の日本人系常設館を三つのチエーンにわかち
第三班 第二班より第四班に
第四班 配屬し、これに對する配給を擔當
第五班 洋畫の取扱およびハルビンに於ける洋畫專門館を擔當
第六班 常設館の設けなき地方に對する巡回映寫興行を擔當

の如く定め上映期間は現下の時局に鑑み、之を制限し、同一番組の上映期間は四大都市に於ける封切物の上映期間を六日間以下に短縮せざる事とし、四大都市に於ける再映物並に地方常設館の上映期間は三日間以下に短縮せざることゝなつた、但し當分の間特別の事情ある場合は之を斟酌するが、これは、日本政府の洋畫輸入不許可、日本に於ける生フイルムの輸入制限及び價格騰貴に依る日本映畫の製作本數の減少、米國映畫製作配給協會の規定による米國八社の映畫輸入不可能、時局に基く宣傳諸經費の節約等によるものであつて、番組の制限は長尺物二本及ニユース映畫、洋畫、文化映畫等短篇物のうち何れか一本とするが、國策映畫、特殊映畫の上映を行ふ場合は、特殊興行としてこの例によらない、又滿映では常設館との共存共榮を計るため宣傳の合理化、取引の合理化興行の合理化研究等のため全國常設館會議、地方別常設館會議等を近く開催する

技術者養成
現場養成主義有力

生產力擴充に伴ひ技術者を如何に養成し、これに增員配置するかは日滿兩國を通ずる緊急問題として愼重考慮されてゐるが、滿洲國においてはこれが對策樹立のため企畫處および產業部等關係官廳が

中心 となつて成案を急いでゐる、しかして本問題は戰時體制の樹立に併行し急速に發展しゆく生產力の擴充に即應すべきものであり、その養成にも速成にしてしかも確實なる事を必要とする事情あるに鑑み愼重を期してゐるところであるが目下有力に考慮されてゐるところは工業學校增設案と現場養成主義の二案である、現場養成主義は學校教育を訂正するものとして注目されてゐるがこれは今後工場に屆傭さるゝ職工の一定數について國家がその費用を負擔し、工場主の負擔の輕減を圖りつゝ現場において技術者の養成を企てんとするものでこれによれば從來學校教育が現業を遊離せんとする懸念を除去し、しかも確實に達成し得るものとして產業部方面において熱心考究されてゐる、一方工業學校增設案もこれと併行して考慮されてゐるが、現場養成主義に比して新味薄く、しかも急速に養成し得ない點において生產力發展の現段階に即應し得ない憾ありとされ、かゝる

意味 において現場養成主義は新興滿洲國にふさはしく學校教育を再訂正し得るものとして極めて注目されてゐるところである

滿洲で作つた二〇三高地の激戰！
旅順港
帝都キネマ

內務局班員獻金

協和會內務局班では去る九月非常時局に對處して班員の實彈射擊演習を行つたが、その際鄉軍第五分會より派出された射擊指導員に對し辨當代として金卅圓を送つたところ指導員達は廿日これを關東軍に獻金した

銃後の意氣を昂揚し 一萬人の軍歌大合唱
明治節の奉祝準備進む

來る十一月三日の明治節奉祝行事は時局柄最も有意義に催すべく過般關係者集合その大綱を決定したが同行事のうち講演と軍歌映畫の夕は西廣場滿鐵社員倶樂部で開催附屬地滿鐵中小學校生徒兒童、滿鐵醫院看護婦等一萬人の軍歌大合唱を行ひ大いに銃後國民の意氣を示す筈であるがこれが細部の打合せ會議は二十一日午後一時から滿鐵支社會議室で開かれた

三中井百貨店 記念大賣出し

大同大街の三中井百貨店では第一本館竣成開館一周年記念大賣出しを二十三日から一週間催し悉くの商品に各種均一價を附し大奉仕を行ふ外記念品を贈ることゝなつた

神兵隊事件公判 十一月九日開廷

【東京國通】わが國新刑法制定以來はじめての內亂豫備罪として大審院の特別裁判に附された愛國勤勞黨々首辯護士天野辰夫同黨員前田虎雄、豫備步兵中佐安田銕之助等五十二名にかゝる神兵隊事件公判はいよいよ來る十一月九日から隔日にわたつて開廷されることになつた

國婦扱ひの恤兵 獻金及び慰問品

滿洲帝國々防婦女會の各地支部分會よりの皇軍、國軍に對する國防恤兵金ならびに慰問品の獻納は事變の推移とゝもにますます白熱化し來り戰線參加の部隊將兵の士氣を鼓舞してゐるが、十九日には撫松分會六十三圓（滿軍）五十圓（關東軍）輯安分會慰問袋百個（滿軍）札蘭屯支部慰問袋百個（滿軍）吉林支部慰問袋三千個（滿軍）の獻金、慰問袋が屆けられたので國防婦女會本部では直ちに滿軍關係のものは治安部へ發送した、なほ十日までの國防婦女會取扱の國防恤兵金は七千八十九圓五十二錢、慰問袋八千五百五十七個その他

守、扇子等が四百個に及んでゐる

第二新京丸顛覆

【清津國通】清津東一商會所屬清津元山間定期發動船第二新京丸（五九噸）は廿日午前七時魚津沖を清津に向け航行中遭難顛覆し、乘船者二十五名（船員八、乘客一七）中四名は偶々附近航行中の清津日本食糧工業の運搬船に救助されたが、他の廿一名は行方不明、目下當局は附近船舶と協力極力搜査中である

社員會聯合會 役員會議題

滿鐵社員會新京聯合會役員會は二十三日正午から支社會議室で開催するが議題は左の如くである
（一）聯合會長補充の件（二）在滿皇軍慰問の件（三）錦州省水害慰問の件（四）飛行機獻納の件

菅野氏送別會

滿鐵鐵道總局文書課長菅野誠氏は事務引繼一段落ついたので家族引纏めのため二十二日來京するので社員會新京聯合會では同氏が聯合會長であつた關係上、二十三日正午から送別會を開くことになつた

頭道溝郵局保險

十月一日保險業務開始以來新京頭道溝郵局では新谷局長を始め野田庶務股長、小柳營業股長其他幹部を第五班に別ち各官廳を中心に保險勸誘に大童であるが業務開始後二旬にして既に加入者五百名を獲得し其保險金額十萬圓を突破した

文話會支部例會

滿洲文話會新京支部では二十日午後七時から大興ビル食堂で十月の例會を開催した

文化倶樂部例會

新京文化倶樂部では二十日午後七時からヤマトホテル會議室で例會を開催した

日系警士募集

警務司では警察權移讓後に於ける國內警察網の完備のため日系警察官の增員を企圖し關東局五千の警察官の移管と相俟つて警察行政の萬全を期してゐるが更に本年度中に日系警士二百名を日本內地及び滿洲國內より募集することゝなつた
應募資格は中學三年修業程度の學力を有する年齡廿二才より廿八才以下の者で試驗合格者は中央警察學校に於て三月間の基礎教育を施し在學中は月五十圓、卒業後は俸給七十五圓である

忌明寄附

八島通り三十二番地株式會社滿洲モータース新京支店會計係山本健三氏は十九日新京署を訪れ妻女の忌明に當り金十圓を貧民救濟費に金十圓を皇軍恤兵金に寄贈した

あす（廿二日）

▲防火思想宣傳第三日
▲滿傑上尉結婚披露、午後六時、軍人會館
▲本庄大將放送、午後九時より

◇今晩の主なる演藝放送◇
▲八・〇〇義太夫「川中島合戰」（大阪）豐竹つばめ太夫外
▲八・三五尺八「虛空鈴慕外」（東京）山口四郎外
▲八・五〇連續ラヂオ小說（東京）北彰外

棉花統制法による實棉收買價格決定

産業部で五日目毎に指定す

棉花統制法第二條第二項に依り政府は今後農事合作社棉花總社を國內唯一の指定收買機關となし、實棉收買價格に就てはS・L・M大阪相場を基準とし、これに生産費、輸入採算其他の經濟事情を考慮し産業部本部にて五日目毎に定めることになつたが、第二回十月二十日實棉收買價格を左の如く指定した

△奉天省 大石橋、蓋平、沙嶺、芦家屯、熊岳城、海城、湯崗子、瓦房店

	改良陸地棉	陸地棉	在來棉
標準棉	一七、〇〇	一六、八〇	一三、六〇
一等棉	一六、四四	一六、三五	一二、八〇
二等棉	一五、一四	一四、五五	一一、九九
三等棉	一三、九五	一三、六八	一〇、一三
四等棉	一一、四三	一一、三〇	八、六八
等外棉	八、六五	八、四五	六、三七

遼陽、鞍山、大安平、千山、煙台、遼中、新民

	改良陸地棉	陸地棉	在來棉
標準棉	一七、〇〇	一六、五五	一三、一〇
一等棉	一六、四四	一六、〇一	一二、六九
二等棉	一五、一三	一四、七四	一〇、七四
三等棉	一三、八五	一三、四七	九、七九
四等棉	一一、一三	一一、一三	八、〇三
等外棉	八、六五	八、四〇	五、九九

康平(在來棉のみ) 標準棉一〇、〇九 一等棉一〇、〇九 二等棉九、三五 三等棉八、三三 四等棉六、八七 等外棉五、〇九

△錦州省 黒山、大虎山、新立屯、勵家窩舖、繞陽河、美家屯、北鎭、閭陽驛、害堆子、郭家店

	改良陸地棉	陸地棉	在來棉
標準棉	一六、〇〇	一五、五〇	一二、四〇
一等棉	一五、四〇	一四、九九	一〇、九三
二等棉	一四、二五	一三、八〇	一〇、〇三
三等棉	一三、〇二	一二、七〇	九、一三
四等棉	一〇、七七	一〇、五九	七、四七
等外棉	八、一〇	七、九五	五、五五

錦縣、石山站、台安、高平義、稍戸營子、七里河子、連山、興城、綏中、朝陽、北票、太平房

	改良陸地棉	陸地棉	在來棉
標準棉	一六、二〇	一五、七〇	一一、〇〇
一等棉	一五、六〇	一五、一九	一〇、九五
二等棉	一四、四三	一四、〇〇	九、五五
三等棉	一三、一八	一二、八〇	八、八八
四等棉	一〇、八八	一〇、五九	七、一六
等外棉	八、三二	七、九五	五、五九

△熱河省 建昌、藥王廟、害龍

	改良陸地棉	陸地棉	在來棉
標準棉	一六、二〇	一五、七〇	一一、〇〇
一等棉	一五、六〇	一四、九九	一〇、六〇
二等棉	一四、四二	一三、八〇	九、四五
三等棉	一三、一八	一二、六〇	八、八六
四等棉	一〇、八八	一〇、四九	七、六六
等外棉	八、一二	七、九九	五、五八

ほかると共に新規計畫についても更に積極的な動きを示さんとしてゐるが既設分については鐘紡、東洋紡、上海紡、福島紡等が何れも建築工事に着手すると同時に新計畫も次第に其の姿を現はさんとする に至つた、目下計畫の進捗してゐるものは中外産業によるもので、昨今滿鮮兩方面に亘つて素晴しい躍進を續けてゐる朝鮮紡織特に紡織が中心となつて之れが具體化をはかつてゐる、工場建設地は天津附近に求めることゝし第一期三萬錘の工場を設置更に明年度には六萬錘の第二工場を增設することになつてゐるが、之に續いて同計畫は尙ほ相踵いで擡頭するものと見られ頓に活況を窺はせてゐる

哈爾濱の製粉業

好調裡に推移

この一年間の生産激增す

哈爾濱の製粉業は昨年下半期以來四圍の環境に惠まれ本格的南滿市場進出を示し年初一二、三月に至つては月産百萬袋突破とゝもに黃金時代の復活操業を開始する等、又他方に於いては日本資本の進出による再編成に一段の拍車が加へられ面目を一新し來つたがその後南滿麥粉消費の急減、新京粉の南滿進出その他急激なる環境悪化に三月末以降減少不振の一途を辿り最悪時には在哈各工場在荷は百二十萬袋突破といふ未曾有の滯貨を擁するなど衰退步調の油房業とゝもに成行頗る注目されてゐたがその後五月中旬より六月にかけての市況好轉と更に北支事變勃發を契機とする南滿北支方面の成約に急轉立直り傾向を示し最近に於いては右北支方面實需旺盛に各工場一齊に操業を開始全能力を擧げて增産傾向を示してゐる、昨年十月より今年九月に至る特産年度在哈製粉業、日滿、双合盛、成泰益、義昌泰、裕昌源三泰棧、廣信、天興福第二(四廠)十工場の生産、移出、地場消費を示せば生産一三、一二九、二七〇袋移出八、五六三、九六八袋、地場消費四、一二七、三八三袋で前年同期の生産九、五五九七三〇袋、移出七、二四五、三二一袋、地場消費三、四一〇、〇八〇袋に對比すれば生産に於いては三、五六三、九六八袋約三割七分餘の激增、移出、地場消費に於いてもそれぞれ二割餘の激增を示し頗る好調裡に越年した事が判る

外國法人法公布

滿洲國政府では治外法權の全面的撤廢を目前に控へ各種法規の整備は勿論百般の準備の萬遺漏無きを期し、既に各種重要法規の制定をみたが、外國法人に關しては民法および會社法に規定を置かずこれを特別法に譲ることゝなり、これが獨立法規の制定準備を進めつゝあつたが、この程成案を得十一日午後の國務院會議に上程可決、十九日の參議府會議の諮詢を經廿一日公布された、同法によれば滿洲國內において認めらるゝ外國法人は次の三種である

一、第一條、法律又は條約によつてその成立を認められたもの

一、國又は地方團體

右は外國を條約の相手方とし又は地方公共團體の起債等の場合にその法人格を認むるの必要あるがためである

一、商法その他の法律による營利法人

外國法人は右の三種類に限ることゝし從つて非營利法人等はこれを認めない

次に法人の國籍については現在大體本店の所在地說が通說となつてゐるから或る特定の外國に本店を置き從つて本店所在國の國籍の所屬する國において何等營業を營むことなく、滿洲國內において事業を營むことを主たる目的とする場合滿洲國としてはかゝる外國法人は取締上種々不便困難を伴ふのみならず、理論上も不當であるのでこれを認めないことゝした(第一條但書)從つて大連に本店を有する滿鐵會社の取扱につき問題を生ずることとなるので、これは別に適當なる對策を講ずる筈であるる

右の如く第一條において認められた外國法人が滿洲國內に支店を設けた場合には一定の登記をなさしめ(第三條)又滿洲國內における代表者を定め、支店設置登記と同時にこれを行はしむることゝし(第四條第一項)外國法人に對し監督を行ふことゝした

尙過渡的對策として外國法人にして滿洲國內において事業をなすを主たる目的とするものに對しては滿洲國內に本店を移させることが必要であり又第十五條には同法施行前より滿洲國內に支店を有する外國法人に對しては登記その他の一定手續きをなすを要する旨の規定をなしてゐる

朝鮮鑛發で

亞鉛精錬着手

【京城支局】日窒系の朝鮮鑛業開發會社では約二千萬圓を計上して增産計畫を着々實現化し更に今回興南精錬所に亞鉛と鉛の精錬設備を行ふ事となり既に五十噸試驗設備を完了してゐるが將來は二百噸にまで擴大の豫定であり、朝鮮では廢物扱にされてゐた亞鉛の精錬は斯界の注目を惹いてゐる

朝鮮の紡績

北支進出企圖

【京城支局】支那事變以來一時その計畫の進展を阻まれてた我國紡績工業の北支進出は戰線の南進、平津地方の秩序回復と共に次第に其の活潑性を回復し既決計畫・進捗を

中旬貿易概算

―大藏省發表

【東京國通】大藏省發表=十月中旬對外貿易概算左の如し(單位千圓)

項目	金額
輸出	九九、二六三
輸入	八七、二四四
合計	一八六、五〇七
出超	一二、〇一九
一月以降累計入超	七一九、三七二

輸出入額

品目	金額
綿織物	一七、一二四
生糸	一三、三二四
人絹織物	一四、八八六
機械類	一、九七一
罐瓶詰食料品	五、四七六
絹織物	三、一八七
メリヤス製品	一、九七四
毛織物	二、〇二七
陶磁器	一、六三五
綿織糸	一、八二一
玩具	一、五五三
人絹糸	一、三三二
木材	一、三三五
その他	四〇、四九六
合計	九五、六四一

商況欄 二日前場

輸入

品目	金額
棉花	一〇、六〇二
羊毛	七、三〇二
豆類	一、七六一
生ゴム	一、四八六
パルプ	一、九七一
木材	一、三三五
石炭	一、二三五
硫安	一、三二五
採油用原料	八九七
油粕	四〇三
小麥	八六九
麻類	八七〇
砂糖	四六九
その他	五八、六五八
合計	八二、四八六

海外經濟電報

倫敦金塊 七磅〇志六片〇〇
紐育金塊 三五弗〇〇〇
倫敦銀塊 二〇片〇〇〇
同先限 一九片一六分五
紐育銀塊 四四仙四分三
孟買銀塊 五〇留比一六分三

▲外國爲替
英米爲替 四弗九五仙一六分九
米日爲替 二八弗九一仙
米支爲替 二九弗五六仙
英日爲替 一志二片〇〇
英支爲替 一志二片八分三
印日爲替 休
スチール株 六一弗八分七
アナコンダ株 三〇弗八分七

▲市俄古小麥
十二月限 九九仙八分三
五月限 九九仙八分七
七月限 九三仙四分三

▲紐育棉花
現物 八仙五一
十二月限 八仙三一
一月限 八仙二九
三月限 八仙三五
五月限 八仙二五
七月限 八仙二八
十月限 八仙二七

▲印棉
ブローチ 一六三留四分三
オームラ 一四五留〇〇
ベンゴール 一三九留比四分三

▲阪神爲替
對米 賣 二八弗四分三 買 二八弗一六分三
對英 賣 一志二片〇〇 買 ノミナル

金銀市況

●上海標金
本寄 ―
步 ―

爲替相場

▲滿洲中銀爲替
上海向 九四弗〇〇
天津向 九四弗〇〇
紐育向 二八弗八分七
倫敦向 一志二片〇〇

▲上海爲替
▲日本向 第一回 賣 一〇一、五〇 買 一〇二、七五
▲倫敦向 第一回 賣 一志二片 買
▲紐育向 第一回 賣 二九弗 買

各地株式市況

▲東京株式(前場)
寄付 大引
新東 [illegible]
新鐘 [illegible]
日産 [illegible]
滿鐵 [illegible]

▲大阪株式(前場)
寄付 大引
新東 [illegible]
新鐘 [illegible]
大新 [illegible]

▲大連株式(前場)
寄付 大引
日品 [illegible]
鐘新 [illegible]
日新 [illegible]
同新 [illegible]
滿鐵 [illegible]
日産 [illegible]
東新 [illegible]
豆木 [illegible]
五新 [illegible]

各地商品市況

各地特産市況

▲大阪綿糸
	寄付	大引
十月限	三三八四〇	三三七六〇
十一月限	三三八二〇	三三七九〇
十二月限	三三六六〇	三三七六〇
一月限	三三六五〇	三三六七〇
二月限	三三六一〇	三三五八〇
三月限	三三五七〇	三三四〇〇
四月限	三三五三〇	三三五一〇

▲大阪棉花
	寄付	大引
當限	五八六五	五八七五
先限	五九三〇	五八九〇

▲大阪人絹
	寄付	大引
當限	六四六〇	六四七〇
先限	六八七〇	六九四〇

▲大阪期米
	寄付	大引
當限	三三七九	三三九一
中限	三三五九	三三六八
先限	三三三三	三三三三

▲橫濱生糸
	寄付	大引
現物	七六〇	―
當限	七六八	七六九
先限	七三三	七三九

▲新京(一石値段)
	寄	引	出來高
現物 大豆	―	―	―
高粱	―	―	―
米高粱	―	―	―
小豆	―	―	―
玉蜀黍	―	―	―
包米	―	―	―
先物 ●大豆 十月限	五、七八	五、八六	一九六車
十一月限	五、六一	五、六八	二八車
●高粱 現物	―	―	
當限	―	―	
先限	―	―	
十月限	―	―	
十一月限	―	―	

▲大連
	寄付	大引
●大豆 袋入 十月限	六、六七	六、七六
十一月限	六、六七	六、七〇
十二月限	六、四四	六、五四
一月限	六、四三	六、五二
二月限	六、四四	六、五〇
三月限	六、四五	六、四二
●豆粕 現物	―	―
十一月限	三、五五	三、五五
十二月限	―	―
一月限	三、二〇	三、二〇
二月限	三、二〇	三、二〇
●豆油 現物	―	―
十一月限	―	―
十二月限	―	―
一月限	―	―
二月限	―	―

金曜 壬午 先負 成 牛宿
舊九月十九日 十月廿二日

一白の人 奮發心を起し元氣強く進めば志望を通達す 申と未と壬が吉
二黒の人 形勢次第に好轉し元氣十分なれば益效あり 午と亥と癸が吉
三碧の人 寸進尺退して效果擧らぬ日守成が寧ろ安全 申と庚と壬が吉
四碧の人 思はざる方面より龜裂を生じ變轉甚しき日 申と乙と辛が吉
五黄の人 堅實を以てすれば相當の效果あり油斷禁物 申ヶ丙と辛が吉
六白の人 知らず識らず深入せんとする日分別が肝要 丁と辛と亥が吉
七赤の人 根を張り芽を延ばす幸運日次第に光明輝く 巳と丙と癸が吉
八白の人 稀有の良運にして緣談金談起業計畫に吉し 巳と辛と癸が吉
九紫の人 我意を振へば家庭の風波あり人の同情薄し 未と子ヶ癸が吉

青春の宿(上映)

須藤鐘一作 柴谷宰二郎畫

(一六)

この感情(三)

『そこへおかけなさい――』

『は――』

銀藏は、曜子の方をちらさみてから

『話は、ほかでもないのだが……こゝにゐる峰島千鶴子さんのことだがね』

『は――』

『話をきいてみると、四百圓の金が、不足したとか、しないとかいふことだが……』

『は――實は……』

と、口をはさまうとする田中を

『いや――』

と、銀藏が靜かに押へた。

『そのことは、いひあはないがよからう――千鶴子さんは、決して盜んだり、使ひこんだりした覺えはないといふし、また、君は盜んだものでなければ、不足するはずがないといふだらう……千鶴子さんは、その金を君に渡したときに、君が、調てくれなかつたが調てくれゝば、そんなことはなかつたのだ、といつてゐるが、もし、事實さうだつたとすると、君にも手落があるね』

『は……實は、峰島を信用してをりましたし……ほかのことで忙しがつたものですから……』

『いや、いひ譯は、きかなくともよいのだが、いまは、この善後處置を、考へなければならないのだから……』

銀藏は、新しい煙草に火をつけて、ゆつくり煙をはき出してから

『その不足したといふ四百圓の金の行方を追及しようといふことになると、これは、どうしても警察の手をわづらはさなければならない……さうなると、世間にも知れずにはゐないし……四百圓程のことで、會社の恥をさらしたくはないから、その不足額は僕のポケットマネーで補足することにして、一切、なかつたこ

とにしてしまひたいのだ。もし、帳面の手を使つこするとしたら、千鶴子さんは、むろんだが、君もその時、手おちがあつたのだから、責任は、到底まぬがれることは出來ないからね……』

『は……わたしも、さう考へましたので、外部にはむろんのこと社內のものにも知らせず、處置しようと考へましたので……』

『それでは、こゝに四百圓あるから、帳尻をあはしてをいてくれたまへ』

銀藏は、紙幣を差しだした――これで終つた。やれやれといふやうに、田中が立上りかけると

『田中君――次に、もう一つ君に話があるのだ……』

『……』

『これは、君についてだが、こんどのことに關連して、君が千鶴子さんをホテルにさそつていつたのは、社內の風紀上、はなはだ面白くない……どういふ氣持でつれていつたにしても、課長として多數の社員の上にたつものが、さういふことでは、會社の名譽にも關することだから、けふ限り、退社してもらひたいのだ――』

『……』

『社から、免職の辭令をだしてもよいのだが、君の將來にも、影響するだらうから、君の方から、辭表をだしてもらひたい』

銀藏は、まだ、三十に一つ前の青年だつたが、さすがに庶務課長の地位について父社長の職務を代行するだけの人材だつた。痴話喧嘩じみた爭ひにもなりかねないこのいきさつを、世間話のやうな靜かさで、片づけてしまつた。

『君の方の整理がついたら、僕が事務引つぎをうけるからよんでくれたまへ』

『は、かしこまりました』

田中が去ると、曜子が、くすつと笑つた。

大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一ヶ月壹圓五拾錢　一部五錢（郵稅一）
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三二二五　營業局專用(3)三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

滹河の敵前渡河決行
東保哨部落を占據す
彰德の陷落既に目睫の間

〔石家莊廿一日發國通〕大追擊の手を滹河鐵橋爆破によつて拒まれた遠山部隊は十九日より廿二日にかけて滹河の敵前渡河を決行すべく前面の敵陣地に猛射をあびせつゝあつたが、廿一日未明鐵道線路を離れること西方約十五キロの滹河上流に絕好の渡河地點を發見し午前九時渡河、わが方に何等の損害なく東保哨部落を占據、引續き後續各部隊は續々渡河しつゝあり、かくてわが軍は完全に河南省に入り河北省內には敵影を認めざるに至つた、これがため豐樂鎭附近の敵はつひに潰走、彰德の陷落も目睫に迫つた、一方石黑部隊は鐵橋修理作業を急ぎつゝあるが破壞は意外に大きく鐵橋の全長二百十米の中頃約六十米から高さ十米の橋脚が破壞されてゐる

北支察哈爾戰況　十月廿一日現在

忻口鎭を再度爆擊

〔〇〇根據地廿一日發國通〕わが空軍〇〇機は廿日敵に多大の損害を與へ無事〇〇基地に歸還した

作戰軍、共產軍を擊破

〔原平鎭廿一日發國通〕南口の天嶮を擊破して以來二ヶ月間にわたり察哈爾、山西の支那軍を破竹の勢で敗走せしめ世界戰史上未曾有の戰績を輝かし山西高原を南進中のわが作戰部隊は忻口鎭の天嶮に據る山西共產軍に猛擊を加へ、その咽喉部を扼しつゝあるがわが全將兵は山岳地帶の隘路を冒して猛進を續け霜凍る高原で不自由な生活にも拘らず全軍の士氣はます〳〵奮ひ意氣天を衝く有樣で、さすがに勇猛部隊たる武威を遺憾なく發揮してゐる

津浦、隴海兩線を連續爆擊

【旅順國通】旅順要港部廿一日午前十一時發表＝第〇〇艦隊航空部隊は前日に引續き兗州以南および隴海線新安鎭附近軍用鐵路に數回爆擊を決行、悠々〇〇基地に歸還せり

重傷の身を敵中に死の彷徨十二日
草に飢を凌ぎ小便に渴を癒す
血みどろ　一等兵奇蹟の生還

【石家莊廿一日發國通】母一人子一人の勇士が戰死を傳へられてまる卅三日、故鄕では淚のうちにも盛大な葬儀が營まれ原隊でも戰死者への禮を盡し位一級を陞げて上等兵とし今は全く亡き者と思はれてゐたその勇士が奇蹟的にも生還し、しかも重傷の身に敵中をさまよふこと十二日間、己れの小便に渴をいやし草の根に飢を凌ぎ捕虜となるを虞れて幾度も自殺の決意を固めたが幸ひ我輜重隊に救はれその後廿日餘り部隊の後を追つて重傷の身で強行軍實に十有餘里、遂に十三日石家莊附近の一部落に部隊を發見、夢かと驚く部隊長と手を取合つて嬉し泣きに泣いたといふ奇譚がある

隊長は直ちに電報を發して原隊にその旨を報告、原隊ではその後佛壇の前を去らぬ老母にこの快報を齎した、老母の驚きと喜びは如何ばかりであつたらうか、記者は驢馬の背に搖られ山西の省境近く朔風にさらされて守備の任に就いてゐるこの奇蹟の勇士を訪れ親しくその口から數奇を極めた卅餘日の報告を聞くことを得た、奇蹟の勇士は佐野部隊步兵一等兵河村武夫君、喜びの老母は京都市左京區東丸太町四番地に住む河村とめを（五〇）さんだ

□

話は皇軍がまだ長辛店附近に待機中總攻擊の準備に大童であつた九月十日の夜に遡る、此の夜は今は無き井桁信夫少尉を斥候長とした六名の斥候決死隊が琉璃河の渡涉地點を偵察すべく馬各庄附近に出された、河村一等兵は北野上等兵と二人一組となり長さ三米の繩を河村一等兵が胴にしつかりと卷き其の一端を北野上等兵が右手にしばりつけ午後九時折柄月が雲間に入つた隙を利用して、琉璃河の激流に身を踊らせヂリ〳〵と敵前に迫つたが、敵は嚴重な監視の目をゆるめてはゐなかつた、後五米で對岸に達しやうとした時對岸に銳い叫び聲が響いた、發見されたのだ、機銃が闇の中から不氣味な火を吐いて川面とすれ〳〵に無數の彈丸がうなつては飛去つた、兩名はぐつと身を縮めて一時頭まですつぽり水中に隱れた、その時北野上等兵の右手首に強い衝擊が來た、繩がピンと張つたのだ、河村がやられた、河村一等兵が激流に足を取られて流されたのだ、北野上等兵も繩に引摺られて足場を失つた

二人の勇士は一筋の繩で繫がれたまゝ川下へ押流されて行つた、敵は後を追つてなほも射擊を續ける、一里程流されたとき敵彈はこの兩勇士を繫いだ繩をぷつつりと切つてしまつた、河村一等兵はこのとき上等兵殿がやられたと感じたさうだ、このときから兩勇士共自分だけしか生きてゐないのだと思つて何とか報告せねばと焦り出した、馬各庄附近の中洲で河村一等兵は辛くも踏留つた、北野上等兵は矢張りその附近で踏留まり三日目に京漢線沿線にたどり着き部隊に戾つた、併しそのときにはその夜の斥候長井桁信夫少尉は最愛の部下二人を殺したと煩悶十二日の戰鬪に先陣を切つて突擊、敵彈を受けて息を引取る間際に「河村と北野が待つてゐるよ」と苦しい息の中に微笑を浮べそのまゝ英靈は昇天したのだ、北野上等兵が部隊に戾つたときは恰度少尉の遺骸を荼毘に附してゐるところだつた北野上等兵はその場に男泣きに泣き伏してしまつた

話はさらに河村一等兵の上に戾る、馬各庄の敵陣地附近の中洲に伏してゐる中に十一日の朝が訪れた、一叢繁つた叢の蔭にぢつとそのまゝ伏して陽が沈むのを待つた長い〳〵一日だつた、やがて夜が訪れて河村一等兵はそつと起上りヂリ〳〵と味方の岸の方に渡りはじめた、やつと渡り終つて岸へ上らうとしたら「あつ目の前に敵兵がゐる」疲勞困憊した河村一等兵は敵陣を味方の岸と間違へてしまつたのだ、敵の一彈が一等兵の喉を貫いた、どうとその場に倒れてしまつたが氣を取直して見ると敵は一名だ、渾身の力を振りしぼりむつくと起上つた河村一等兵は銃劍を握りしめてゆらぐ足を踏みしめて飛びかゝり一氣に敵を突殺してしまつた、突刺した銃劍を拔取らうと精一杯の力を振りしぼつたが駄目だつた、重傷と飢餓に弱り果てた體力はもうそれを許さぬのだ、この時敵兵の斷末魔の叫びに俄かに足音がしだした、萬策盡きた一等兵は劍の留金を押して銃だけを外し劍は死體に刺したまゝ再び河中に身を投じそれでもやつと中洲に辿り着いた、氣がゆるんでそのまゝ昏倒してしまつた、それから何時間經つたか、不圖目を覺した、三時間位だつたでせうと一等兵は言つてゐる

「ぼうとしてゐましたがそれでも上衣に繃帶包みのあることを思ひ出して首をしばりました」

その後三日間重傷の身を悶へつゝ川の中洲で悲慘な生活を繰返した、僅かに殘つてゐる草を嚙り川面まで步けぬので雨が降ると鐵兜で受けてこれを飲み最後には自分の小便を鐵兜に受けてこれに喉を鳴らした、この間にも念頭を離れぬのは早く報告をしなければならぬといふ責任感だつた、これにもう一つは斷じて捕虜にはならぬといふ大和魂だつた首の重傷で指に引金を引く力の無い一等兵は右足の地下足袋を脫ぎ若し敵が來たら足の指で引金を引き自決しようと覺悟したのだ、朝が來夜が訪れ太陽は三度瀕死の一等兵の頭上を廻つた三日目の夜不思議に傷の痛みが薄らぎ何となく腹に力が出て來た、神の加護だと信じた一等兵は一期の力を絞つて苦しい息をあえがせて川を渡つた、兎に角渡り終へ川の水が如何に甘かつたことか、岸に攀り暫く這ひつゝ行つたが遂に精魂盡き果て昏倒してしまつた

芋畑の中だと氣付いたのはそれからどれ位經つてゐたであらうか、芋を喰べ〳〵小便を飲み少しづゝ這つて行つたら泥水を發見し首を突込んで飲んだ、この間に皇軍の總攻擊は開始され破竹の進擊は河北の野を席卷して南下して行つたのだ、幾日經つたかわからない、或日一隊の輜重兵が遂にこの勇士を發見した、この日初めてその日が二十二日であることを知つたのだ、部隊が既に遙かに南下してゐるのを知つた河村一等兵は病院に後送されるのを拒み驢馬一頭を貰受けそれに跨がり輜重隊と共に行軍を始めた、繃帶で縛つたゞけなのに傷は日每に癒えて行つた、人の一念で治つたのだ、行軍五日間馬を捨てゝ步き出した、その間に保定が落ち部隊は又前進した、七日より廿日餘り行軍を續けた同兵の苦心は遂に酬いられて十三日石家莊近に居た部隊を尋ね當てたのだつた、隊長佐野常光大尉は夢かと驚いたが次の瞬間しつかりと河村一等兵を抱へてゐた、隊長の頰を淚が傳はつた、死んだと思つた北野上等兵も居た、互に手を取合つて泣いた、井桁少尉の死を知つた一等兵は其の場に齒を喰しばつてうつ伏せてしまつた、隊長も北野上等兵も部隊全員一等兵のいぢらしさに泣きに泣いた、男の流す尊い淚だつた

海軍機南京、南昌を猛襲
蘇州、常州では軍用列車粉碎

【上海廿一日發國通】二十一日午後二時わが海軍航空部隊〇〇機は大編隊をもつて長驅南京を襲ひ大校場飛行場、浦口停車場及び硫酸工場に巨彈を浴せ徹底的打擊を加へ、一方中野少佐の率ゐる〇〇機はこれと相呼應して南京市內外の軍事施設に猛烈な爆擊を加へ多大の效果を收めて紫金山に入る夕陽を銀翼に浴びながら全機無事歸還した、この日南京上空に敵機を見ず、地上の部隊が反擊したのみであつた

【〇〇基地廿一日發國通】海軍航空隊新鋭部隊〇〇機は廿日午後二時卅分頃江西省南昌を空襲し飛行場および被服廠その他軍事施設に爆擊を加へた

【上海廿一日發國通】海軍航空隊中野中尉指揮の〇〇機は廿一日午前九時廿分蘇州に飛び蘇州驛附近を西進中の軍用列車に巨彈をあびせ貨車十二輛を完全に爆破した、又同九時半常州に爆擊を加へ敗殘の軍用列車を大破し、さらに又一方原本大尉、德本兵曹長指揮の〇〇機は午後二時松江驛に爆彈をあびせ敗殘の軍用列車十一輛を粉碎し、また野中中尉指揮の〇機は午後三時頃南翔東北の敵主要野砲陣地に猛烈な爆擊を加へ、何れも多大の效果を收めた

吉川部隊長戰死

【〇〇にて廿一日發國通】去る十日拂曉〇〇鎭南方〇〇の敵陣地に決死隊となつて突入したまゝ消息を斷つた〇〇部隊吉川洋部隊長は同日壯烈な戰死を遂げたことが廿日確認された

海陸荒鷲呼應　反復爆擊

【上海廿一日發國通】廿日午前七時今村、千田兩部隊の海軍航空隊〇〇機は約八回に亘つて閘北、浦東、江灣の敵主要陣地に爆擊を敢行した、殊に小倉中尉指揮の〇〇機は北四川路前面の敵に猛烈な直擊彈を加へ敵の根據地たる建物を餘さず粉碎した、他の一隊は早朝より陸軍作戰に協力、南翔、大場鎭の敵野砲陣地に對し猛烈なる反復爆擊を敢行した

【上海廿一日發國通】陸軍飛行隊は廿一日早朝より地上部隊と呼應し陸の荒鷲の翼を連ね大場鎭、彭浦鎭、馬陸鎭附近敵主力陣地に巨彈を浴せつゝある

戴家宅を完全占據
荒鷲部隊縱橫の奮戰

【上海廿一日發國通】廿一日午後七時〇〇報道部發表＝(一)陸軍飛行隊は廿一日その主力をもつて〇〇部隊の戰鬪に協力新木橋西方ならびに廣福の敵陣地に對し果敢なる爆擊を敢行之に潰滅的打擊を與へたり(二)〇〇部隊は前日來の攻擊を續行し飛行部隊の爆擊に呼應して新木橋南北の敵に猛攻擊を加へ、午後二時新木橋西側陣地ならびに戴家宅を完全に占領、更に敗退する敵を西方に壓迫中なり(三)飛行隊は更に敗退する敵に對し爆擊を與へ、なほ一部をもつて嘉定、太倉、崑山方面の敵狀を偵察、海軍機と協力して敵後方主要施設を爆擊、多大の損害を與へたり(四)和知部隊は廿日揚涇クリーク西側の堅固なる陣地に對して徹底的攻擊を敢行し、遂に新宅を奪取した

鐵道管理局崩壞す

【上海廿一日發國通】北四川路前面の敵が牙城と誇る閘北の敵最重要陣地たる鐵道管理局は、わが海軍航空隊精密爆擊の權威者たる橋口喬大尉の反復爆擊によつて大打擊を蒙つたが、廿一日午前九時廿五分金田兵曹長指揮〇機の巨彈を浴びて遂に徹底的打擊を受け崩壞した、同機は更に午後二時廿分商務印書館の敵陣地に猛擊を加へ、同所附近は大火災を生じ夕刻に至るも黑煙天に沖してゐる【寫眞は先日來の我空爆により鐵道管理局に爆彈命中の刹那】

寺內大將天津歸還
戰線の視察を終へて

【天津廿一日發國通】二十一日午後四時三十分天津軍司令部發表＝寺內大將は十七日から前線の狀況を視察中のところ二十一日天津に歸還せり

草間採金副理事長歸京

新造ドレッヂャーの始業式擧行のため黑河に赴いた滿洲採金會社草間副理事長、石川技術部長外三名は、映畫班を帶同、北滿に活躍するドレッヂャーの雄姿や採金作業等をカメラに收め廿一日午後二時着あじあで歸京した

重光大使伯林へ

【モスクワ廿日發國通】モスクワ駐劄帝國大使重光葵氏は廿日午後五時モスクワを出發しベルリンに向つた

豪膽なる敵前着陸で負傷の隊長救出
包頭空中戰に森田准尉偉勳

【大同廿一日發國通】去る十九日包頭の戰鬪で敵前數百米の地點に不時着せる隊長を救出した森田准尉の勇敢なる行爲の詳報が判明した

能登大尉の指揮する察哈爾作戰軍飛行隊は十九日主力をもつて〇〇飛行場に前進し五原方面に對して制空の任務をもつて〇機編隊にて包頭、五原上空を偵察中十九日午前十時卅分頃包頭西北方約六十キロの地點で西方に向け退却中の敵騎兵約五百を發見、之に地上攻擊を反復し敵に大損害を與へたが、能登隊長は最後の攻擊に降下した時右眼に重傷を負ひ機關も敵彈に射ち貫かれて敵前約五百米の地點に不時着し愛機は溝に足をすくはれ顚覆した、之を見るや第〇編隊長森田准尉は直ちに編隊に解散を命じ僚機山口曹長機を報告のため〇〇飛行場に歸還せしめ自らは豪膽にも敵彈雨飛の中を傘の如く敵前に着陸し、すばやく能登機に走りより顚覆せる機中より人事不省に陷つてゐる能登大尉を救ひ出し肩に負つて愛機に歸り隊長を乘せて悠々離陸した、これよりさき浮足たつた敵兵は機目掛けて猛射を加へて來たので前川曹長の指揮する他の僚機は不時着を見るや同じく能登機の不時着を見るや同僚機を護るため必死の對地攻擊をなし森田准尉を助け隊長救助に成功せしめ〇〇飛行場に歸還した、森田准尉、山口、前川兩曹長の行動は至誠を天皇陛下に捧げて死を省ず敵中危險を冒して隊長を救助し、空中部隊の固き一致協力振りを發揮したものとして將士一同の賞讃の的となつてゐる

後藤隆之助氏　昨日來京談

昭和研究會の幹事として政界に重きをなしてゐる後藤隆之助氏は同會員酒井三郎、專大講師市川清敏兩氏を帶同北鮮北滿方面の視察を終へ二十一日午前七時十分着列車で哈爾濱より來京ヤマトホテルに投宿したが記者の質問に應じ左の如く語る

本月の七日に東京を出發北鮮地方から東邊道に出て北滿は哈爾濱を中心として視察して來たが、東邊道の治安が次第に肅淸され水力電氣でもつて產業の開發をしたら素晴らしいと思つた私も滿洲に來たのは一度五年目だが東京で話を聞くのと現地で實際をみるのは感じからしてまるで違ふ、新京には廿四日頃迄滯在しそれから北支に赴く筈である

九ヶ國會議招請狀
外相に正式手交さる

【東京國通】駐日ベルギー大使バッソン・ピエール氏は廿一日午前十一時卅分外務省に廣田外相を訪問、九ヶ國會議主催國たるベルギー本國政府の訓令に基く別項の如き日本に對する參加招請狀を正式に手交した、之に對し廣田外相は近衞首相ならびに政府の各機關にはかつた上正式回答する旨答へ、同大使はこれを諒とし辭去した、招請狀の內容左の如くである

アメリカ合衆國政府の同意をもつてなされたる英國政府の要請に從ひ白國政府は一九二二年二月六日の九ヶ國條約に基き東亞に於る事態を檢討し該地域に行はるゝ遺憾なる紛爭の終結を促進すべき有效的手段を考究するため本月卅日ブラッセルに會合せんことを提議す

日本支持
伊、獨對策協議

【ローマ廿日發國通】イタリー政府が卅日開會の九ヶ國條約會議に參加することは殆ど確定的と見られるが、イタリー政府は目下外交機關を通じてドイツ政府と九ヶ國條約會議に臨むべきイタリー政府の態度につき協議を進めてゐるといはれる、右折衝においてイタリー政府は專らイタリー代表が九ヶ國會議の席上如何にして日本支持の態度をとるべきかにつき隔意なき意見の交換を遂げてゐると見られる

偶語

支那民衆の利得壟斷をつゞけて來た英國は日本のため支那に平和と幸福が齎らされては一大事と事每に日本のため邪魔をしつゞけて來たが▼遂に支那に關係ある國々を語らひて九ヶ國條約會議といふ組の上で日本を料理しやうと近くブラッセルで會議を開く事になつた▼英國の見へ透いた肚の中をちやんと讀んでゐる各國は乘り氣せぬこと夥しく米國は具體案なしでおつきあひ程度で會議へ臨むことになるであらうし▼伊太利は參加出席はするが日本を侵略者と認める如き決議には參加せずむしろ▼日本の立場を擁護してソ聯の畫策に對抗する立場をとるとの三原則を保持し終始日本との友好的關係を守ることは絕對不變のものと觀測出來る▼さうなれば獨逸も日本との友好關係より見て英國に組するが如きことは萬々豫想外である▼かく見るとき九ヶ國條約會議などゝいふ大仰な文字を連ねて見ても結局に於て何等得るところなくして終ることは必然である▼英國が世界の紳士國をもつて任じるならば今少しく世界の平和のために活眼を開くべきであらう

社說

列國の對日認識是正

一

日本に對する諸外國の觀察態度が感情的に惡化してゐるのと相伴つて、日本の經濟力に對する外國人の評價にも不當な見方を行つてゐるものが多々あるやうである。經濟ボイコットを行へば日本は非常に困るであらうと見る如き見解はその代表的なものであらう。從つて若し日本が經濟力に於ける弱味を外國人に感じさせるやうなことがあれば、それは事變を無用に長引かせるおそれがあることにならう蓋し充實した經濟力を持ち、國際經濟戰上に優越した地位を持つことが戰爭擴大防止の重要な要件であるからである

二

外國では、日本は支那と戰ふことによつて恐慌を招かうとしてゐるといふやうな意見がかなり行はれてゐる。たとへ日本が軍事的に勝利を得たとしても經濟的な過重負擔から遂に社會的破滅に至るであらうといふのである。ところで近着の英誌「エコノミスト」を見ると次のやうに述べてゐる。「日本が非常な困難に逢着してゐることは明白である日露戰爭の時のやうに外債を起すことが出來ないので、困難は一層大きい。國民の生活程度を思ひ切つて引下げることは不可避である。しかし日本政府の國民支配力は充分强力であるから、近い將來に社會的破滅を豫想するには及ばぬ。戰爭狀態乃至その跡始末が長引けば困難は激しくなるであらうがしかし日本の經濟組織が崩壞し戰爭の目的が達せられなくなるやうなことは外國の對日經濟封鎖が行はれぬ限り斷定することは出來ない。支那のボイコットは問題であるまい。たゞ合衆國と英國とが聯合して經濟封鎖を行へば著しく事情は異る。」實際多くの觀察者は英米が聯合して對抗するといふデモンストレーションを行つたゞけでも日本を牽制するに充分であらうと信じてゐる」これは比較的公平な見方のやうであるがそれでも英米が共同して示威すれば相當効果があらうとしてゐるのである。

三

感情的に惡む相手に對しては、希望する氣持からもその實力を過少評價し易いものである。英米の日本品ボイコットがどれだけ効果を持ち得るか、聯盟諸國が伊太利に對して行つた經濟封鎖の無效果であつた實例を見ても明らかな筈である。反日論者が對日悲觀論を說くのは不思議でないが、その誤謬を正すことは無用な摩擦等を發生せしめないために肝要である。現下の事情に照して、日本が毅然たる經濟的實力を有してゐることを外國人にもよく納得出來るやう實行の上に證明することが緊要だと考へられる。斯くて誤解が正され不安は一掃されることを望みたい。

行政執行法並に同施行令の要旨

―滿洲國政府當局談發表―

行政執行法並に同施行令は十九日午前十時より開かれた參議府會議に附議可決され、廿一日公布されたが、これにつき當局は左の如き談話を發表した

一、立法趣旨

一般に國の行政は國家機關によつて執行するのであるが、人民が法令又は法令に基いて命ぜられたる義務を履行しない場合においてその義務を履行せしむるか又は義務を履行したと同樣の狀態を實現せしむるため必要なる强制手段を用ふるの權能を行政官署に附與して置くと共に、斯かる法令上の義務の全然ない場合においても人民の身體、財産に對して或程度の强制手段を用ふるの權能を行政官署に附與して置かないと行政の目的は完全にこれを實現し難いものである、然るに斯かる强力なる權能は反面において往々これを濫用するの弊害を招き易きをもつてその超ゆべからざる規準、限度を明確にして置くことも亦極めて緊要のことである、以上の必要に基き現在民國二年公布の行政執行法を採用して居るのであるが、その不備缺陷を是正するとゝもに治外法權撤廢並に附屬地行政權移讓に應ずるために新たに行政執行法並に行政執行法施行令を制定し玆に公布した次第である

二、條文の配列

行政上の義務不履行の場合における强制執行に關する規定は、警察官署に限らず一般の行政官署に關係あるをもつて先づこれを法の第一條に掲げ第二條乃至第九條において專ら警察官署においてなすところの即時强制を人の身體その他の自由に對するもの、家宅に對するものゝ順序に配列規定したのであるが、これ等の點は日本法の短所を捨て舊法の長所を採つたものである、次に施行令においては主として法第一條の實施上必要なる手續規定を網羅したるの外は二、三の注意的又は解釋的規定を掲げたものである

三、規定の內容

總じて日本法ならびに舊法の長所を取捨選擇し規定の內容を合理的にしたと謂ふことが出來るが、その要旨は次の通りである

一、代執行、執行罰及び直接强制

行政上の義務不履行の場合の强制執行として代執行、執行罰及び直接强制の三を認めたるは、日本法ならびに舊法と同樣なるも過料の最高限度は舊法に倣ひこれを卅圓とし、なほその範圍內において行政官署の區分に從ひ夫々過料の限度を定め、代執行及び執行罰の場合の戒告、代執行の場合の費用及び執行罰の場合の過料の徵收、過料の取消、代執行の場合の費用の負擔區分、徵收金及び過料の收入手續に關する事項を明確にしたのである

次に當該行政官署と謂ふは、法令の規定によつて國家事務の處理する職權を有する官廳のことにして夫々の法令により明かとなるが街村公署の如きは行政官署とは謂ひ得ざるをもつて、街村公署が自治團體として行政上の强制手段を必要とする場合には新たに法令を設け法第一條に準用すべきものである

二、檢束

檢束に所謂保護檢束と豫防檢束とを認めたるは日本法並に舊法と大差なく檢束の目的については最もこれを明確にしたのである、唯其檢束の期間に關し兩法は翌日の日沒後に至ることを得ずとするも、本法は五日を超ゆることを得ずとする點において異る、檢束は行政上の手段としてこれを行ふべきもので、被疑者の取調べのためにこれを濫用すべきものではない、被疑者の取調べのためには既に新刑事訴訟法に便法が設けられてゐる、從つて檢束はその必要性なきに至つた場合は速に釋放すべきものであることは論ずるまでもないが檢束すべき事由が繼續する限り一日をもつて釋放すべきは甚だ無理である、既に朝鮮においてさへ三日を限度としたのであるが、朝鮮に比し交通機關の發達遲れたる滿洲においてその限度を五日に定めたことは蓋し實情に即するものと謂ふことが出來る

次に檢束をなすべき官署は警察署長であるが、滿洲の實情に鑑み且つ先般公布せられたる違警罪即決法に照應するため、警察總監、警察廳長、海上警察隊長、縣長および旗長においても亦檢束することが出來るのである、これは健康診斷および假領置の場合でも同樣である

三、健康診斷および治療の强制

健康診斷の强制に關する事項は、舊法になく、元來は花柳病豫防法その他衞生法規にこれを挿入すべきものなるも、未だその整備の時期に至らざるをもつて、日本法に倣ひ便宜これを定めたものである

衞生上の取締を要する業に從事する者とは所謂接客業者のことで、被檢診者を指定して健康診斷を强制するのであるが、主として檢黴の强制をなすところにその意義があるのである

次に賣淫犯罪またはその前科者にして賣淫の常習ある者とは、日本法と解釋同樣なるも滿洲國に於ては公娼制度を採用しない方針の下に「密」の字を賣淫に附しなかつたものに過ぎない

四、風俗上取締を要する業に從事する者の制限

風俗取締の見地より風俗上取締を要する業に從事する者の居住その他の自由を制限する必要あるを以てこれに關する警察命令を出し得るの法的根據を玆に定めたものである

五、家宅侵入並に尋問

晝間に於ける家宅侵入は當然のことながら之を明示すると共に、夜間に於ける場合の家宅侵入は日本法並に舊法よりも合理的にこれを定めて住居の安全をも充分考慮したのである

尋問については日本法並に舊法にはその例なきも、各取締規則中の尋問に關する規定の根據を明確にすると共に、一般に職務執行上必要ある場合は法令上義務者たると否とを問はず尋問を爲し得ることゝしたのである、所謂警察の不審尋問はこれに屬するのである

六、法令の違背に基く土地物件の處分及使用の制限

日本法の如く具體的には列擧せざるも、その趣旨に於ては差異なし、即ち危害豫防または衞生上取締法令に依つて一應取締を受けて居るにも拘らず、その法令に違背し而かも危害または害毒を及ぼす虞ある場合に於てその土地物件その物を處分しまたはその使用を制限することが出來るのである

七、非常時における土地物件の使用、處分及使用の制限

前項は平常時における法令違背をその原因とし、原來警察責任を有する場合の强制手段なれども、これは何等かゝる警察責任のなき場合における土地物件に對し非常急變の際警察急狀權の發動としてその物を使用し、處分し又はその使用を制限するものにして國家社會の運營上極めて必要なる事項である

八、危險の虞ある物件の假領置

假領置は檢束に附隨する處分とはせずして所持者その他の狀況によつて猶豫すべからずと認めた場合において危險と認むる物件の抑留を爲すのである、假領置の期間および假領置物件の國庫歸屬については概ね日本法並に舊法と同樣である

九、試驗用物品の收去並に試驗の强制

警察上障害あるか否かを試驗し又は試驗せしむるのであるが、それがために必要なる物品に付必要なる分量を收去することが出來るのである、但し事柄の性質上具體的に列擧することを得ざるをもつて專ら運用に委した次第である

十、日本法第七條に揭ぐる「認可又は許可を受くるに非ざれば所有することを得ざる物件行政廳の保管に歸したる場合においてその所有を認許すべからざるときはその所有權國庫に歸屬す」といふ規定は必要ある場合において夫々の法令に規定すべきものとして省略した次第である

行政執行法公布

―十一月一日より施行―

去る十一日の國務院會議で決定した行政執行法は十九日參議府會議の結果可決されたので、廿一日公布された

行政執行法

第一條　當該行政官署は法令又は法令に基きて爲す處分により命じたる行爲又は不行爲を强制するため左の處分を爲すことを得

一、自ら義務者の爲すべき行爲を爲し、又は第三者をしてこれを爲さしめその費用を義務者より徵收すること

二、他人の代りて爲すこと能はざる行爲又は不行爲を强制すべきときは勅令の定むる所により三十圓以下の過料に處すること

前項の處分は豫め義務者に對して戒告するに非ざればこれを爲すことを得ず、但し急迫の事情ある場合においては第一號の處分を爲すはこの限に在らず

行政官署は第一項の處分によりて行爲又は不行爲を强制すること能はずと認むる場合又は急迫の事情ある場合に非ざれば直接强制を爲すことを得ず

第二條　當該行政官署は左の各號の一に該當する者あるときは檢束を爲すことを得

一、泥醉者、精神病者、自殺企圖者その他の者にして檢束を爲すに非ざれば本人又は他人の生命、身體を保護すること能はずと認むるとき

二、暴行、鬪爭、煽動、騷擾その他の行爲を爲す虞ある者にして檢束を爲すに非ざれば他人の生命、身體を保護しその他公安を維持する事能はずと認むるとき

檢束は五日を超ゆることを得ず

第三條　當該行政官署は左の各號の一に該當する者に對しその健康を診斷し又は指定したる醫師の健康診斷を受けしむることを得

一、衞生上の取締を要する業に從事する者にして命令を以て定むる者

二、賣淫犯者又はその前科者にして賣淫の常習ある者

前項の規定に依る健康診斷に依り傳染性疾患に罹り必要ありと認むるときは診療所に入らしめ若は指定したる醫師の治療を受けしめ又は治癒に至る迄居住、外出の自由を制限し若は從業を禁止することを得

前二項の規定に依る健康診斷及治療に要する施設並に費用に關する事項は主管部大臣これを定む

第四條　風俗上の取締を要する業に從事する者の居住其の他の自由の制限は命令を以て之を定む

第五條　當該行政官署は職務執行の爲必要ありと認むるときは家宅に入り又は尋問を爲すことを得

日出前、日沒後に於ては左の各號の一に該當するときに非ざれば家宅に入ることを得ず、但し宿屋、料理屋其の他夜間と雖も公衆の出入する場所に於て其の公開時間內は此の限に在らず

一、生命、身體又は財産に對し危害切迫せりと認むるとき

二、犯罪を防遏し其の他公安を維持する爲緊急已むを得ずと認むるとき

第六條　當該行政官署は危害豫防又は衞生の爲取締を要する土地又は物件にして法令の規定に違背し因て危害を生じ又は害毒を及ぼすの虞ありと認むるときは之を處分し又は其の使用を制限することを得

第七條　當該行政官署は左の各號の一に該當するときは危害豫防又は衞生の爲土地又は物件を使用若は處分し又は其の使用を制限することを得

一、天災事變ありたるとき

二、生命、身體又は財産に對し危害又は害毒切迫せりと認むるとき

交通其の他公共の生活に重大なる障害を生じ又は生ずるの虞ある場合に於て其の障害を除去し又は豫防する爲必要ありと認むるとき亦前項に同じ

第八條　當該行政官署は戎器兇器其の物件にして所持者其の他の狀況に依り危險の虞ありと認むるときは其の物件の假領置を爲すことを得

假領置は三十日を超ゆることを得ず

假領置を爲したる物件にして假領置期間滿了の翌日より一年以內に交付の請求なきときはその所有權は國庫に歸屬す

第九條　當該行政官署は危害豫防又は衞生のため必要ありと認むる物件につき試驗を爲し又爲さしむることを得

第十條　第一條の規定による費用及び過料の徵收に關しては勅令をもつて定むる外國稅徵收法の規定を準用す

前項の徵收金は國稅に次ぎ優先す

附　則

本法は康德四年十一月一日よりこれを施行す

施行令公布

廿一日から施行さる

十一日の國務院會議で決定の行政執行法施行令案は十九日の參議府會議を通過廿一日公布、即日施行された

第一條　行政執行法第一條の規定による過料はその處分を爲す行政官署の區分に從ひ左の金額を超ゆることを得ず

一、國務總理大臣及各部大臣　卅圓

二、省長、特別市長及警察總監　廿圓

三、縣長、旗長、市長及警察廳長　十圓

四、その他の行政官署　五圓

第二條　行政執行法第一條の規定による戒告は義務者の違背したる條項ならびに指定期間內に義務を履行せざるときは行政執行法第一條に基き行政官署自らこれをなし、又は第三者をしてこれをなさしめ、その費用を徵收し又は過料に處すべき旨を明示したる戒告書を作成しその正本を義務者に交付してこれをなすべし

第三條　行政執行法第一條の規定による費用の徵收は現に要したる費用及びその納期日を決定し、行政執行法第一條に基きその費用を徵收する旨を明示したる決定書を作成し、その正本を義務者に交付してこれをなすべし

第四條　行政執行法第一條の規定による過料の處分はその金額及び納期日を決定し行政執行法第一條に基き過料に處する旨を明示したる決定書を作成し、その正本を義務者に交付してこれをなすべし

第五條　過料の決定書交付後未だ過料を納付せざる以前において義務者自らその義務の履行をなしたるときは情狀により過料の決定を取消すことを得

第六條　戒告書又は決定書の交付は當該官吏自らこれをなすの外使丁又は郵便によることを得

戒告書又は決定書は本人又はその代理人に交付すること能はざるときはその者の家族、事務員、雇人又は同居人にして事理を辨識するに足るべき者にこれを交付することを得

本人、代理人又は前項の者正當の事由なくして戒告書又は決定書の受領を拒みたるときはその者の住居にこれを差置くことを得住居不明その他の事由に因り戒告書又は決定書の交付不能なるときは五日間これを公示して交付に代ふることを得

第七條　行政執行法第一條の規定による費用は事務費の所屬に從ひ國庫又は地方費よりこれを支出しその徵收金及び過料は事務費の所屬に從ひ國庫又は地方費にこれを收入すべし

第八條　行政執行法第二條の規定に依り檢束を爲すときは警察廳、警察署又は適當なる場所に看守人を附し留置くべし

檢束を爲したるときは速に適當の處置を講じその事由消滅したるときは直ちにこれを解くべし

第九條　行政執行法第八條の規定に依る假領置を爲すときは豫め期間を定め且必要なる事項を記載したる假領置證を本人に交付すべし

第十條　行政執行法第二條、第三條及び第八條の規定において當該行政官署と稱するは警察總監、警察廳長、縣長、旗長、海上警察隊長および警察署長を謂ふ

第十一條　當該官吏にして行政執行法の規定による權能を執行するに當りては制服を着用せるときと雖もその身分を證明すべき證書を携帶し請求あるときは直ちにこれを提示すべし

附　則

本令は行政執行法施行の日よりこれを施行す

コミンテルン排撃の大講演會 二十七日開く

排共の狼火をラヂオで中繼

コミンテルン排撃の聲は過般ソ聯內の鮮人驅迫問題に端を發し遂に國民運動化せんとしてゐるが、協和會では愈よ廿七日午後二時より排共運動のトップを切つて協和會館に於て排共大講演會を開催し氣勢を擧げることゝなつた、當日の講師は大橋外務局長官、稻村關東軍新聞班長、田邊參議等で舌端火を吐く排共の狼火が擧げられるが放送局ではこの排共の聲を全滿に中繼放送することになつてゐる

國都人口の減少に首都警察思案顏

接客業者の檢痰實施

國民體位の向上退嬰如何は直ちに國家そのものゝ衰盛に影響することゝて內地では既に國民體力管理法を施行健康手帳等を作つて國民體位の向上、國民の保健に努力してゐるが、翻つて滿洲國の現狀をみるに漸次向上をみつゝあるも未だ內地のそれに比し多くの不備缺陷が發見され、首都警察廳衞生科の調査に依れば康德三年度の管內死亡數は合計二二一四名內男一二九〇女九二四、出生數は合計一五四五內男八二六、女七一九で約七百名の減少を示し原因は結核に依る死亡八五一、氣管支系統二四七の割合を示して居り、これは滿洲國の將來に憂慮すべき暗影を投げかけるもので一般市民に呼びかけ注意を喚起する一方、十一月頃より妓女、理髮業飲食店等接客業者の檢痰を

開始

し業態別、年齡別に結核の檢査を爲すこととなつたこれと併行して衞生科に日、滿女子各數名づゝを採用し看護婦、産婆の訓練をなして巡回班を設け一般家庭の衞生健康相談に應じ、姙産婦、乳幼兒の保育衞生設備の指導、家庭清潔の指導食料營養の指導、病氣看護の指導、衞生諸統計の調査に當らしめ女は女同志の立前から家庭內の衞生思想の普及設備の完備を期し前記人口減少の如き國家の前途に暗影を投げかけるが如き原因の徹底的一掃を計り明朗なる國都の繁榮の爲に全力を傾注することゝなつた

北野、平山兩博士北支へ

奉天滿洲醫科大學教授北野、平山兩博士は北支皇軍慰問ならびに北支、察哈爾方面における醫療設備、衞生狀態を視察のため廿二日午前零時卅五分發列車で天津に向つた

北鮮三港經由 大豆輸出激增

圖佳線を始めとする東滿經濟諸鐵道の敷設によつて北鮮三港發大豆輸出高は劃期的增大を豫想せしめ哈爾濱特産關係筋では四十萬瓲近くの輸出を見るものと期待されてゐたが國際支店調査によれば昨特産年度の北鮮發輸出高は歐洲向三十四萬瓲餘、日本向五千八百二十瓲、合計三十五萬瓲餘に達し本年夏季に於ける輸送力不足で大連廻しとなつた五六萬瓲を合すれば豫想高に達するわけでこれを前年度の五萬八千瓲に對比すれば約六倍といふ激增振りである

商況欄 二日後場

株式相場

●大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品	一五、二〇	―
豆新	一八、七〇	―
東新	一四三、五〇	―
日産	六六、三〇	―
滿鐵	五四、〇〇	―
兒新	五三、一〇	―
鐘新	二三〇、九〇	―
土木	一三、四〇	―
日新	四九、五〇	―

●奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
滿取	―	―
東新	一四三、一〇	一四三、一〇
大新	―	―
日新	九九、七〇	―
同品	六六、七〇	六六、五〇
五品	五〇、〇〇	―
豆新	一五、〇〇	―
滿鐵	―	―
鐘新	―	―
電甲	二〇〇、〇〇	―
滿毛	―	―
日營	六二、〇〇	―
電業	―	―
化學	―	―

新京取引市況（廿一日後場）

現物	寄	引	出來高
大豆	―	―	―
高粱	―	―	―
米高粱	三、九〇	―	一車
小豆	―	―	―
十月限	五、六六	五、九二	二四〇車
十一月限	五、六八	五、七〇	三車
●高粱			
十月限	三、九〇	―	一車
十一月限	三、九〇	―	一車

手形交換高（二日）

二三〇仄　八五〇、四九九、五二

館令第八號

昭和十二年八月三日附館令第四號暴利取締ニ關スル件中左ノ通リ追加改正ス

昭和十二年十月十五日

在新京　總領事代理　柴崎白尾

第一條第一項中第十六號ノ次ニ左ノ如ク加フ

十七　防寒具及其ノ材料

十八　薪及木炭

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

滿洲に於ける水力發電事業（上）

滿洲國水力電氣建設局長 工學博士 直木倫太郎

本稿は去る三日社團法人滿洲電氣協會のために直木博士が新京放送局から全滿中繼放送を行つたもので電協駐京辦事處の提供にかゝる

□…滿洲國の電氣事業發展の爲に年々催されつゝある「滿洲電氣記念週間」の第五回目の開催に當り、茲に我滿洲に新に擡頭せんとする水力發電事業に就て其の概要を紹介するは深く欣幸とする所であります

御承知の如く我滿洲は石炭の至つて豊富な土地柄であり、從つて今日迄の發電は凡て火力に依るものでその全滿發電設備の總計は今日四十八萬キロワットに迄躍進し來つたのであります、加之滿洲は御覽の如く其土地が至つて廣漠平坦であり降雨量も日本内地の二分の一にだも達せぬ甚だ濕ひの無い乾いた感じを與ふる國柄なる爲、凡そ「水力電氣」などゝ申すこととは頗る緣遠い筈のものだと察せらるゝのでありますが然しながら國の周圍には東から北、西の三方面にかけては長白山、小興安嶺、大興安嶺などと言ふ雄大な山脈があり從つて之に源を發する河川も松花江と言ひ遼河と言ひ又は鴨綠江、圖們江などゝ言ふが如き世にも名だゝる大河を横へて居るに見ましても、その何れにか水力發電地點を求めて見出し得ざる筈はないのであります

□…即ち之等大河の本流を溯り又はそれに流れ込む幾多の支流に沿うて仔細にその上流山間部の地勢並に地質を調査し來れば、存外其處に堰堤築造の好適地點を見出し能ふのでありまして、其處にそれより上流の廣大なる流域よりする雨水を遮り滿々たる水量を貯ふるを得ますならば以て存外豊富なる水力電氣を發生し與ふ譯なのでありまして現に今日迄の調査の結果によりますと、齊々哈爾から遠からぬ嫩江の上流を初め、吉林市に近き第二松花江、又は奉天近く太子河、牡丹江の町に近き牡丹江、承德附近の灤河、それにあの鴨綠江さては之等の大河に流れ込む支川の中にも相當有望の地點を發見し得るのでありまして夫々着々調査、測量を進めつゝある次第なのであります

されば將來國家産業の開發につれ若は文化交通の進展に應じてやがて之等のものを順次具體的に實現化し事業化し能ふべきことも大に期待し得べくその總發電量は恐らく三百萬キロワットを下らざるべく察せらるゝのであります

そこで我政府に於きましては之等將來に於て必ずや旺盛なるべき水力發電事業を濫に民間の經營に委ねて前途幾多の紛糾に累はれんことを避くべく、早くも今日に於て、水力發電事業を國營とする方針を確立したのであります、尚ほ

□…此の點に就て深く考へまするに我滿洲の如く廣大なる中央の平地部が屢々洪水氾濫の禍災に見舞はるゝ處にありては、河川は宜敷河川本來の使命に則り、何處までも雨水の疏通を良くする爲の手段、即ち所謂治水方策を樹立するを以て第一義とし、水の利用に關する諸施設は須らく之に順應すべく又は之に抵觸せざる樣適當に之を統制せざるを得ぬのであります、即ち縱令は堰堤を以て或山間部に貯水工事を施すとしてもその全水量をば只管に水力發電の一事業にのみ利用せしむるを以て得たりとせず、寧ろ夏季の降雨期にはその下流幾千萬陌の廣大なる土地に洪水の被害を來さぬ樣、豫め貯水池面の水位を低下してそこに洪水量を調節し能ふだけの用意を缺くことを得ませぬが、之を若し單に水力發電事業のみの採算からすれば、それだけ發電量も制限さるゝの大痛事たるに相違ありませぬ、加之下流の開墾と言ひ灌漑と言ひ、さては水田開發、又は移民計畫と言ひ、若は航路水運の改良と言ひ、水力發電以外にも尚幾多別途の利水計畫も亦併せ考へざるを得ませぬから、唯獨り發電事業の有利にのみ着眼して大切な堰堤地點を之に獨占せしむる譯には參りませぬ、即ち斯樣な點から考へましても玆に我滿洲國が水力發電事業を濫に民營に委することを爲さず今日直に國營主義を確立して、綜合的な河川利用計畫を「モットー」とする方針に出でたることは洵に適切の措置たるを察すべきでありませう

□…但し玆に只一つの特別として、彼の朝鮮との國境を爲す鴨綠江の水力發電のみに限りては、滿洲國側にては所謂特殊會社制を採り、朝鮮側の民營會社と共同して之が開發に當らしむるのでありますが、之も滿洲國の關する限りに於ては國營主義に準據して發電統制の方針を確保したるものなのであります （續く）

江南戰線報告書

征きて還らぬ祖國の勇士達

突撃路を開いた挺身八勇士

【上海廿日發國通】堅固なる土塀の銃眼から射出す敵の重機關銃の十字砲火の眞只中に飛込んでこれを爆破、後續部隊の血路を開いた挺身八勇士が現はれた

〇〇南方戰線に活躍する〇〇部隊は十八日早曉第一線に起つてクリーク南岸〇〇の敵陣に突進したが土塀の中から銃口を出して射撃する敵兵のため阻まれて流石のわが勇士も進むことが出來ない「あれをやつつけろ」と〇〇部隊長の一言に「私がやります」と答へるのは奥山孝行上等兵（山梨縣出身）だ、綱島、湯川、南上等兵、守屋、中手川、鈴木、二挺、星野各一等兵の七名全部續く「それ行け」と奥山上等兵の合圖に一齊塹壕を飛出す、敵もこの一團に砲火を集中するが誰一人屈するものなくまづ土塀に到着した、奥山上等兵は二個の手榴彈を銃眼目がけて投込めば見事命中忽ち敵の銃器は粉碎された續いて土塀の中に一齊に手榴彈を投込んで轟然たる爆音に敵の逡巡する際にわれ先に躍込まんとした刹那、側面から四挺の敵機銃が火を吹き見る見る八勇士はその場にバタバタ倒れた、だが突撃路は開け任務は完うされ八勇士のうち湯川上等兵、星野一等兵は重傷を負ひながらも屈せず後方の味方の塹壕まで歸つたが他は一名も歸らぬ、僅か數十米先に勇士の遺骸を見ながら敵の砲火に遮られて收容さへ出來ず切齒扼腕して過すこと廿四時間、頃合よしと〇〇部隊は十九日曉闇を衝いて八勇士の開いた血路に向つて突貫見事敵陣を突破し土塀の一軒家はわが軍の手に收められたかくて八勇士の挺身犧牲は報いられたがこの突貫に際し柿島一郎少尉は部下の仇とばかり眞先に進み、去る八日〇〇攻撃の際傷ついた左手を首に吊りながら奮戰中またも臂部を射拔かれて名譽の戰傷を負つた

二挺一等兵の奇蹟的生還

【上海廿日發國通】十九日午後八時頃敵陣の方から人聲がする、戰友が耳をすますとこれぞ〇〇部隊挺身八勇士の一人で一晝夜行方不明となつてゐた二挺一等兵の聲だ、それと塹壕から飛出して壕の中へ連込んだ、同一等兵は片足に重傷をうけ左手の指もバラバラになるほどの傷で、血は泥で固つてゐる、この重傷にも屈せず敵前十米のところに晒されること廿四時間、奇蹟的にも生還したのだ、二挺一等兵は「〇〇鎭まで行かぬ中にこんなことになつて申譯ありません」と言ひながら敵前廿四時間の苦鬪を語る

最初やられたと思つたら直ぐ氣が遠くなつてしまひました、氣がつくと敵前十米のところに轉つてゐました幸ひ敵は私が死んだものと思つて直ぐ傍にゐても私の方を注意しませんでしたが血が滾々と流れるのを繃帶することも出來ず困りました、ぢつと死んだ眞似をしてゐる間に直ぐ傍らの家の中から味方を射撃する敵の樣子がよく見えるので傷ついた右手で銃をとつて二人を射殺しました

十九日の日暮がどんなに待遠しかつたかわかりません早く日さへ暮れたらと身體の周圍に雨の如く落ちる敵と味方の彈を僅かの窪地に身を入れながら待ちましただが夜になると明るい月が出て晝間と同樣で全然動くことが出來ません、雲が出て月を隱して呉れたらと心に願ひ神に祈りましたが空には雲一つないので意を決してそろそろ味方の方に這寄り遂に戰友に抱かれることが出來ましたが、戰友の聲が聞えた時こんな嬉しいことはありませんでした

遺族へと純情の金五圓

【上海廿日發國通】十七日朝壯烈な戰死をとげた〇〇部隊の工兵上等兵江口喜代太君の遺骸は、廿日朝茶毘に附されたが、この時僅かな所持金の中から金五圓を「遺族に渡して下さい」と申出で〇〇部隊長を感泣せしめた一兵があつた

この兵は神奈川縣出身の金子七五郎一等兵で故江口上等兵とは同郷でも亦同年兵でもなく同隊の好誼のみで別段親しい仲でもなかつたが、江口上等兵は應召の直前妻を亡くししかも四人の子供さへあると聞いて「私にも澤山子供があります、遺族の方がお困りでせうからこれは僅かですが上げて下さい」と差出したもので、〇〇部隊長はこの純情に感泣し直ちにその手續をとることになつた

定田中尉の英靈に捧ぐ

高橋部隊長の手記

【上海廿一日發國通】江南の空の華と散つた定田中尉の部隊長高橋赫一大尉は同中尉の壯烈な戰死を悼み、その英靈を弔ふ左の如き手記を記者に託した

謹みて定田分隊長の英靈に捧ぐ

支那事變勃發するや君は選ばれて〇〇航空隊に職を奉じ、八月北支方面の備へに任じ、その任務を完了、九月轉じて中支方面に前進を命ぜられるや敵後方兵團線の破壞攪亂陸戰との協力等に參加すること實に四十九回、さらに九月十九日以來のわが〇〇部隊の南京空襲に參加すること八回、その中君は艦爆隊の小隊長とし或はまた分隊士として縱横無盡の活躍を續けられ赫々たる武勳を樹てつゝあつたが、十月十九日午後五時九分南翔附近の敵裝甲車爆擊中悲壯にも鐵火機となつて片岡三空曹諸共に愛機を敵の密集部隊中に突入、壯烈無比な戰死を遂げたのである

顧れば昨年十二月君が霞ケ浦海軍航空隊を出て後或は後進の特別教育に、或は自己の技術練磨に滿身眞の努力を傾注して活躍し不肖なる私を陰に陽に扶けて呉れた、その君は今や江南の空の勇士として逝いたのである、君が私の分隊士となつて以來日常一般の事務においても將又戰鬪任務遂行中にも「分隊長は私がやります」といふ君の言葉を私は幾度聞いたか知れない、私は常に有難いといふ感謝の念で一杯であつた

今君を失つて私は感慨無量無念でならない、君も亦無念至極であらう、君が生前樹てられた功績を讃へるとともに君が殘していつた直率の部下とともに益々忠誠の念を固くし暴戾なる支那軍を膺懲し、君の無念を晴す覺悟である

私は今涙で胸が一杯になつてゐる

君の英靈は私のこの無念とこの悲しみを充分知つて呉れるであらう

希くは英靈永久に江南の地に留まつてわれわれを加護して呉れ

農商教員スピード養成の臨時教師養成所

明春一月奉天に開設

民生部では明年一月新學制實施に伴ふ全滿中等學校教員拂底に備へ奉天に中等學校農商科教師の臨時養成所を新設することゝなり奉天省公署において目下これが開所準備を進めてゐるが、農業教師養成所は新學制實施と同時に、新設豫定の國立奉天農業大學に商業教師養成所は大南關商科高級中學跡に新設豫定の奉天省立商業大學にそれぞれ附設せしめる方針で既に農業教師養成所は鮮滿學生百名、商業教師養成所は卅名の第一回募集にとりかゝり、來春早々開所の運びであるが兩養成所とも修業年限一ヶ年で、實業教育擴充のため全滿各地に配置する中等教員を超スピードで養成せんとするものである

なほ右と別個に民生部において奉天に開設準備中の日本人農業教師短期講習所開所式は二十一日午前十時より高等農業學校において中央より皆川教育司長、高松人事科長等出席のもとに擧行されたが、入所生は二十名講習期間二ヶ月間である

奉天省明年度豫算大綱決定す

康德五年度奉天省各縣豫算は民政廳財務科が中心となり査定を急いでゐたが、一段落となつたので二十日午前九時より省公署會議室において從省長、竹内次長以下各處科長出席、省政會議に附議正式決定を見た、當豫算編成に當り省當局では附屬地行政權移讓に伴ふ市制施行豫定地の歳出入豫算を縣一般豫算より除外するとゝもに新設される警察廳豫算も別途編成されるので、同樣一般豫算より除去する方針の下に

一、下級警察官吏待遇改善
一、産業五ヶ年計畫二年度遂行
一、有給自衛團による街村負擔輕減ならびに街村の積極的育成
一、新學制に伴ふ學校整備ならびに青訓新設

等に主眼を置き、歳入にあつては現在の課目により從來の實績を愼重檢討の上賦課徴收の確實化が圖られてゐる、同豫算の大綱左の通り（單位千圓）

		前年度對比增減（△印增）
△歳入		
經常費	九、〇六七	三〇
臨時費	四、四八六	△三、九六一
計	一三、五五三	△三、九二一
△歳出		
經常費	一〇、六六七	△一、九三〇
臨時費	二、八六六	△九九一
計	一三、五三三	△二、九二一

日滿酸素會社

近く工場設立

豫て産業部に設立認可申請中の日滿酸素股份有限公司はこの程設立認可あつたので、近く工場施設その他の設立に着手する模樣であるが、資本金百萬圓（全額拂込）をもつて本店を哈爾濱、工場を三棵樹に設けて一ヶ年六瓩入ボンプ約六萬本以上の工業用および醫療用の酸素を製造、哈爾濱を中心に北滿沿線に供給しようとするもので、三棵樹工場地帶も亦一つ賑やかになる

奉天市立小學校長視察團

奉天市では新學制を目前に控へ教育の刷新向上を圖るべく第一回の試みとして市立小學校長教育視察團を北滿および朝鮮に派遣することになつた、北滿視察は日系副校長十三名で吉村視學引率の下に來る廿一日奉天出發十一日間にわたり吉林、哈爾濱、牡丹江、齊々哈爾など各地を視察、朝鮮視察團は滿系校長十二名で田中學務股員引率の下に廿四日出發一週間にわたり京城を中心に朝鮮の教育界の現狀を視察兩班とも三十一日歸奉の豫定である

配車問題中心に

輸送座談會を開催

哈鐵、商工會議所が

哈鐵及び商工會議所では共同主催で來る廿八日午後二時から哈鐵倶樂部に輸送座談會を開催、哈鐵よりは郡副局長以下關係者、會議所側より加藤會頭を始め在哈特産商、輸出商荷主その他關係業者出席配車問題を中心に隔意なき意見の交換をするが、本年は時局の影響による輸送力の不振に加へ特産物その他鐵道輸送量の激增のためその輸送如何は多期輸送最盛期を控へ重視されてをり、右座談會を中心に今後鐵道側と民間關係業者が一致協力して貨車、機關車を始め輪轉材料の運用效率の引上げその他の人爲的調節により輸送の輕減を圖らんとするものでその效果を期待されてゐる

哈市農事合作社を本年中に設立

哈爾濱市では濱江省各縣に相呼應していよいよ農事合作社設立に乘出すべく明年度豫算會議に十萬圓を計上提出してゐるが、これが支出見透しもついたので近く市が包含する農業地區百保四萬人を動員して哈爾濱市農事合作社の組織に着手、本年中に設立することゝなつた、當分農業倉庫、糧穀市場の設置および共同出荷等の事業は差控へ總經費卅萬圓をもつて春耕資金の融資および農具の購入利用その他の共同施設にとゞめる豫定である

なほ本部を市公署内に置き董事長および董事には市長以下關係職員がそれぞれ就任する

滿洲鑛工技術學堂 明年新京に新設

日滿學生百五十名募集

滿洲國では日滿一體の經濟ブロック建設と滿洲産業開發遂行のため、産業五ヶ年計畫を樹立し鋭意實現に努め特に重工業部門に最も力を傾注してゐるが、右の計畫遂行の途上に於て中堅技術者の必要を痛感してゐるため明年一月より新學制によつて新設される哈爾濱工業大學と異なる使命を有する滿洲鑛工技術學堂を明年一月より新京に新設し、官費生の日滿學生百五十名を募集することゝなつた、同學堂は從來の學校教育の弊を避け實學第一主義とし、學科を併行して實習を重んずる方針で暑中休暇も全廢し修學年限の短縮を圖り、中等學校卒業後二箇年の教育で、專門學校卒業生と同等の資格を有せしむる方針である

なほ同學堂の試驗地は滿人にあつては新京、奉天、哈爾濱、吉林、大連の各地で日本人は右の外日本内地の各地で施行の筈で、期日は滿人は今年十二月下旬日本人は追つて發表の豫定である、在學中は寄宿舍に收容し食費その他一切の經費を支給し、卒業後はすべて政府において政府各機關ならびに特殊會社に就職を斡旋することゝなつてゐる

忽ち落す重爆彈 ドカンとあがる爆煙

壯烈！機上從軍記

【〇〇根據地廿日發國通】山西方面の敵は珍らしくも頑强に一歩も退かず峻嶮な山岳を利用して築いた陣地に據り懸命にわが軍に抵抗してゐるがわが航空部隊は數日來の連續爆擊に引續き十九日も早朝より大擧同方面猛爆のため出發した、記者は島谷部隊長の好意により柴田中尉の〇〇機に同乘、山西方面におけるはじめての空中從軍記者としてこの壯烈なる爆擊行を見ることを得た

午前八時

朝霧冷たく立こめる〇〇根據地を出發、各部隊翼を連ねて一路西方に向ふ、東に茫漠たる河北の曠野、西に峨々たる山西の連山が薄紫の靄に煙る山又山で、高度四千米を示し氣溫は零下三度に降つた、連日この寒さの中を數時間にわたつて活躍するわが航空隊將士の苦勞が思やられる、眼下の岩と石ころばかりの禿山にも所々眞赤に紅葉した谷間が見える、この切りたつた山の峰をよく注意して見ると所々に峰の一方から大きな穴を向ひ側に掘拔いて築いた堅固なトンネル陣地が造つてあるのだ、早くも膝下には山西の盆地が展開した、やがて遙か彼方に城廓に包まれた定襄の街が見える、これこそわが陸の荒鷲が目的地なのだ、忻縣の東方廿キロ太原をはるか南方に控へて敵軍が

太原前線

の要衝として死守せんとする根據地だ、午前九時五十分城廓がわが機の眞下に現はれると見るや司令機の合圖に忽ち落す重爆彈はまるで定襄市街に吸込まれて行くかの如く一發、二發、三發、やがてパッと火花が立ちのぼり爆煙渦をまいてドカンと爆發する音が機の爆音をつんざいて記者の耳に聞える、見事命中だ、家も敵兵も木葉微塵に爆破せられ狼狽した敵兵の逃げ惑ふ姿が手にとる如く看取される、かくて無事任務を果し一路歸還の途につき再び麗しの山河を越えて根據地に歸還した、時に午前十時十分、柴田中尉が記者の手をとつて「どうだ、痛快だつたなあ」と滿足さうに笑つた

縮んだシャツは 衛生上芳しくない
：保溫の點ても駄目てす

毛織、殊にメリヤスのシャツ類は、餘程氣をつけてお洗濯してもその度にどの位かづゝ縮んで段々小さくなり、これをむりに引つぱつて着ても、胸のあたりをしめつけられるやうでまことに不愉快なものですが、保溫上にはどういふことになりませうか？

まづ縮んだ毛織の性質の變化からいふと、纖維どうしがあつちこつちからみ合ひ、もつれ合つてつながるので、見た目にも編んだものやら織つたものやら、たゞ一面にべつたりしたものになつてしまひます。

通氣・保溫を妨ぐ

從つて隙間といふものがなくなつて、衣服材料として最も大切な通氣性が非常に減じられ、同時に纖維間の保溫層がそれだけ小さくなつてしまひます。溫かく快く感じるといふことは、つまり體溫で溫まつた空氣を、適當に纖維の間に保ちながら、しかも體内から皮膚を通して出て來るガスやその他の排泄物を外へ出して、新鮮な空氣と入れ換へてくれるものでなくてはなりません。ところが一面にべつたりしたこの紙のやうになつた布地では、殆どこれが行はれません。從つて着た割にはさつぱり溫かくない〳〵にもかゝはらず、何となく汗つぽくいつかじつとりと肌もシャツも濡れて來ます―身體全體紙を張りつめたり繪具などで塗りつぶしたりすると、僅か二三十分で我々は死にさへするものなのです。

運動・血行を妨ぐ

つぎに小さなものをむりにのばして來る結果、胸をしめつけるといふことは、胸廓の運動を妨げて、肺心臓のみならず、腹部までの血行を緩慢にさせてしまふのです。ですから人によつては間もなく頭痛を起したり、のぼせたりして來ます、前に申上げた皮膚の働きを邪魔し、出た汗のやうなものを外に逃がさないといふことは感冒を引きやすいといふことにもなります。

之等の人に禁物

以上、保溫の目的から云つても、衛生上にも、かういふものはぜひ避けていたゞきたいものです。特に幼い子供らをはじめ、血壓の高い人、のぼせ性の人、腎臓疾患のある人など注意すべきことです。なほもう一つ注意することは、かうしたものは、例へば大人のものを子供にまはしたとしても、決して好もしいものではありませんからそのおつもりで。

◇料理献立◇

鯖の揚蒸

秋鯖といふ様に今は鯖が美味しい時でございます。價もお安いのでお惣菜ものとしてお使ひになる事が多うございますがこのやうに致しますとまことに美味しい御馳走として召上れます。

【材料】（五人前）
- 鯖　切身普通より小さく五切
- 薑　少々
- 葱　一本
- 鹽　少々
- ラード　四合
- スープ又は煮出汁　五合

鯖を揚げ葱、薑と共にスープの中に入れて蒸します。

これから冒され易い 風邪の御用心
豫防手當の通俗衛生

これから急に寒くなると少しの不注意のため風邪をひきますから充分用心して下さい。平素洋服を着慣れてゐる婦人が突然和服に改めたり非常に疲れて歸つてきた時靴下をぬいで冷つとしたり、何でもないことのやうですがしば〳〵風邪の原因となります。

（豫防）の に冷水摩擦が効果のあるのは勿論ですが、摩擦したあと身體が溫てゐるやうでは却つて風邪をひきます。手拭は充分固くしぼりまた今から冷水摩擦をはじめる人はまづ乾布摩擦で皮膚の鍛錬をしてかゝらぬとこれも風邪の原因になります 風邪氣味のときは風呂は入らぬ方が安全です。熱が少しもなければ、全身に溫布をするといふ意味で入浴し、身體の暖かいうちにすぐ床につきあまり熱くない湯たんぽを入れ熟睡するがよろしい。また夜間だけ鼻に溫濕布をすると非常に治癒を早めます。二%硼酸水を溫めこれを綿にしませて輕く鼻にのせその上から薄い布のマスクをするのです。

（腹を）こはし易くなりますから熱い梅干湯や生薑湯を飲むのは惡くないが、不消化物は避け、また便秘せぬやう心がけて下さい。寒いからとて、むやみに閉め切つて、火をカン〳〵たき、頭が重く逆上氣味の部屋に閉ぢこもるのは愚です。部屋の中はいつも新鮮な空氣が通つてゐなくてはなりません。さりとて風の吹くのに窓をあけ放つのもいけません。外氣が自然に通ふ工夫をして下さい。空氣の溫り過ぎてゐるのは困ります。殊に風邪の氣味のあるときには台所からの惡い空氣にできるだけ遠ざかつて下さい。熱が少しもないのに風邪氣が拔けきらぬやうな時は疲れない程度の輕いハイキングを野山に試み新鮮な空氣を滿喫すると大へん快くなります。三十八度以上の熱が一日だけあつたといふならともかく、こんな熱が二、三日も續いた後は、たとひ熱は下り、咳痰が出なくとも油斷はできません。こゝで躓くと微熱がいつまでもとれず果は重體に陷ります。風のあと頭が重く食慾は進まず仕事が嫌になり微熱の續くときは醫師の指導の下に、時には働きながら、二、三ケ日シツカリ養生されたいものです。

けふの番組
【M・T・C・Y 新京放送局】廿二日（金曜日）

◇朝◇
- 六、二五ニュース（東京）
- 六、三〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
- 七、四五朝の音樂（大連）
- 八、二〇氣象通報
- 八、四五建國體操
- 九、〇五經濟市況（東京）
- 九、三〇經濟市況（東京）
- 一〇、〇〇家庭講座　慰問袋の製作その他婦人の銃後の仕事に就いて　大日本國防婦人會滿洲本部常務理事 陸軍歩兵少佐 伏見鎮
- 一〇、二五料理献立（大連）　大連高女教諭　岩井美喜
- 一〇、三五家庭メモ
- 一〇、四〇經濟市況（大連・新京）
- 一一、三五經濟市況（大連）
- 一一、四〇經濟市況（東京）
- 一一、五五時報（東京）

◇晝◇
- 〇、〇一晝の演奏（レコード）
- 〇、三〇ニュース（東京・新京）
- 一、〇〇經濟市況（大連・新京）
- 三、〇〇經濟市況（大連・新京）
- 三、四〇經濟市況（大連・新京）
- 三、四〇經濟市況（東京）
- 四、〇〇ニュース（東京）ニュース・氣象通報（新京）
- 四、四〇經濟市況（大連・新京）
- 五、二〇ニュース（鮮語）　講演　新聞の歴史と使命　滿蒙日報社　李台雨（鮮語）

◇夜◇
- 六、〇〇子供の時間（大阪）連續童話劇　海の子供たち（第十回）大佛次郎・作
- 六、二〇コドモの新聞（東京）村岡花子　BKコドモ會　屋根裏
- 六、二五商業常識講座　新京商業學校教頭　原島省吾
- 七、〇〇ニュース（東京）ニュース・告知事項、番組豫告（新京）
- 七、三〇時事漫才（大阪）敵は幾萬ありとても　秋田實 作　秋山右樂　秋山左樂
- 七、五〇連續ラヂオ小説（東京）寄生木（三）士官候補生時代　徳富健次郎原作　小林勝脚色　伊藤昇作曲　配役　東山大尉「後少佐」生方賢一郎　篠原良平　北澤彪　篠原夏子　堤眞佐子　大木將軍　汐見洋　大木祐勝　大川平八郎　外大ぜい
- 八、三〇管絃樂（東京）日本放送交響樂團
- 九、〇〇時事解説（東京）
- 九、二九時報・ニュース・ニュース解説（東京）氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
- 一〇、二〇ニュース再放送　アナウンサー　宮岡　野村

連續ラヂオ小説 寄生木（三）
後八・五五（東京）
生方賢一郎 外

士官候補生時代

△……幼年學校に於ける良平の成績はビリから一番であつたが、體格では全校一であつた。その良平が寒い旭川の聯隊へ入隊してから、急に肛門病に倒れてしまつた。忽ち衛戍病院で手術を受けたが芳しからず、東京の病院に移り療養した。それを聞いて「何故衛戍地でたほれないか」と烈しく叱つたのは、恩人大木中將であつた。良平は中將の紹介で、三度病院を變へて、東京衛戍病院に入院した。入院生活が餘り永く、隊附勤務不充分の爲良平は十一月の待望の士官學校分遣の資格を失つた。くやしさに泣く良平を、やさしく慰めるのは破談になつた許嫁夏子であつた。

□……良平は此の時、しつかりと彼女の熱い心を掴んだのである。その翌年、良平は一期おくれて士官學校に入つた成績は始め惡くはなかつたが病身の爲に休み勝ちで、卒業の時は餘り優秀ではなかつたしかし愈よ見習士官である。大木中將は將校たるの道を敎訓した。少尉に任官した時には軍刀を賜つた。明くれば明治三十七年、日露戰爭である大木中將は大將に進んで第三軍を率ゐ、旅順攻略に向つた南山の戰、二〇三高地の激戰――大木二令息は名譽の戰死良平は大木將軍より賜つた軍刀を拔いて、兵卒を率ゐて旅順に向つた。そして二〇三高地の保壘上で、奇しくも大木司令官に會つたのである。

管絃樂（通俗名曲定期演奏）
後八・三〇より（東京）
日本放送交響樂團
指揮 篠原正雄

ペールギュント組曲（グリーグ作曲）
- (1)(イ)朝　(ロ)オーゼの死　(ハ)アニトラの踊り　(ニ)山の王の殿堂にて
- (2)(イ)イングリードの嘆き　(ロ)アラビアの踊り　(ハ)ペールの歸郷　(ニ)ソルヴェイクの歌

グリーグはイプセンの戯曲「ペールギュント」上演のために舞臺用の效果音樂を書いたそのうちから管絃樂用に組曲を二つ作つたもの今日ペールギュント組曲として廣く世界に知られ愛されてゐる美しい特徴のある音樂である。

第一組曲は爽やかな朝の氣分悲痛な挽歌、異國的な舞曲、奇異な音樂と四つの違つた氣分を對象せしめ、第二組曲は北歐的な哀歌、アラビアの色彩的なリズム、そして暴風、純情なソルヴェイクの歌と各々特徴ある情景と組合せてゐる。

カフェーサービス座談會
―1―

お客に不快を與へぬ
藝者には三味と唄があるが……

時 十月十五日午後二時
場所 記念公會堂食堂
〔出席者〕 來賓長谷川放送局長、田口ビューロー主任、田村土産物商組合長、關口交通會社庶務係長、公會堂眞殿氏、經營者從業員―友清松竹主、林精養軒支配人、坂井銀パレス主、追風主、伊藤ロータリー主、坂井サロン春支配人、小林マルセーユ主、女給さん―ロータリー京子、銀座會館よし子、精養軒京子、松竹一代、サロン春泰美、銀パレス織江、赤玉椿、マルセーユきみ子、觀光協會細川主事、高澤氏、本社―伊藤事業部主事外

細川 本日はお寒い折柄御多用中をわざ〳〵御出席下さいまして寔にありがたう存じます。挨拶ののちカフェーサービスと觀光協會と如何なる關係があるか、觀光協會の事業等を約廿分に亘り詳細に説明ののち愈よ座談に入る、扨てけふの座談會でありますが新京日日新聞社の御後援によりましてかく盛會を得ましたことを感謝します、御集り下さいましたのは新京一流のカフェーの御主人並に從業員各位、それにサービスの第一線に立たれる女給さん諸嬢、また保安の方やこの方面のお客さんとして最も通人でゐられる方々のこと故嘸ぞ有益な御話が承れる事と思ひます、何卒皆さん御遠慮なく忌憚のない御話をきかして頂きたいと思ひます……座談會を進行させてゆく上に誰方か司會をして頂く方がよいと思ひますので、長谷川理事に司會して頂きたいと思ひます

長谷川 私が只今御紹介にあづかりました長谷川で御座います、只今細川君から色々觀光協會の御説明がありましたが、所謂觀光客を如何にするか、**新京と云ふところを如何によくして旅行者によく印象づけるか**と云ふ事に關し最も關係の深い旅館カフェー等の方に集まつて頂いて色々お話を承り度いとの主催後援者の意見で御願した次第何卒ザックバランに御意見をどん〳〵御話し願ます話を進める順序として松竹の友清さん一つ經營者としての御意見を

友清 本日こうした有益な會をお開きになり出席することを得ましたことは有難いことです、業者の立場からカフェーを見る時事變當時と今では格段の相違で從つて營業方針も非常に違つて來て居ります、**事變當時は何でもかんでも賣れればよい主義**でありましたが現在では商賣を續けて行く上にはどうしても堅實にやつて一般お客に滿足をしていたゞくといふやうに努力するやうになりました、如何にしたらお客に安く面白く遊んで頂けるかと苦心して居りますその點色々内地を參考にして研究して居りますが、今のところでは内地と比較して勝るとも劣つては居ないと確信して居ります さてサービスはとなるとこれがまた一苦勞です、サービスく〳〵と云つてもこれを**言葉だけでなく動作に移して所謂誠心こめたサービス**をしておせい〳〵かくあり度いと私等も努力しますが、第一認識して貰ふ爲めには觀光協會なりビューロー、放送局、新聞社などの方々の御援助を頂きその宣傳に鬪ふやうにやつて行き度いと思ひます

長谷川 御主人側ではサービスは心からと仰言る女給さん如何ですか、銀パレスの織江さん一つ……

織江 自分では誠心こめてやつて居る積りですがまだ他から見ると色々足りないことがあるでせう**それで毎月一度マスターや私等が集まつて**あれはどう、これは改めなければいけないといふ風にお互に氣のついた處を語り合ひ注意し合つてやつて居ますが、今のところ別に何も申し上げるやうなこともありません

長谷川 主人と女給さんがよく連絡がとれてゐることは非常によい事と思ひます、親と子のやうな關係でお互に持ちつ持たれつの氣分で進んで行き度いものですね坂井さんどうでせう

坂井（銀パレス） 私は元來話が不得手の方であまりしやべりませんがどうすればよいか、どうすれば良い店になるかと尋日色々の方面から始終考へて居ります 開業以來三年誠心を以つてと同じ方針で來ましたが、サービスとは全くむづかしい問題です、私がいつも云ふのですが藝者さんは三味があり唄があり道具があるのでサービスもし易いが女給さんはテーブルに座つてお相手するだけで都々逸を唄ふことも出來なければ踊るわけにも行かんので大變にむづかしいのです、常に一貫して申して居ることですがこの商賣の本體がそこにあるので御客樣を充分滿足させることは出來ないのだから八分通りの滿足で歸つて頂くといふことが必要ではないかと思つて居ます、店としてもその氣持で私の氣持と皆んなの氣持を一つにしてやるといふことが肝心だと思つて居ります、それにもう一つは**今日限りと思はず明日もまたといふ考へでサービスする**ことが大事でその場だけといふ氣持を捨てゝ客に接することが必要だと思つて居ます

學藝

歌舞伎の行方
～過去の演劇美と現代～

守隨憲治

歌舞伎は今日の劇ではない。即ち現代人の劇ではない――これは誰でも、現代的生活を營む誰でもが肯定する命題である。だが今日の演劇の中で興行價値の最も高いのは歌舞伎である。歌舞伎が今日の劇でない、と見るのは、大體その戲曲的內容からの說である。余りに感傷的であるとか、余りに甘美な情緒に浸り過ぎてゐるとかいふ現代の聲としての此の判斷は正しいのである（その反面に、現代が感性方面に寧ろ退步してゐると見るのも、正しいと思ふ）であるからその正しい判斷によつて整理されて、現代から滅亡すべき歌舞伎のあるといふことも、一應は認められなければならない。但し演劇は、殊に國劇は形式方面に、異常な發達を遂げた。この形式方面といふのは、型や色彩の外に音もあつた。それ等が複雜にして、且微妙な有機的統制下に構成されたのである。これが單なる形式上の成功といふのでなしに、演劇美に於いての最高位を占めるに成功したのである。

□

併し、今日迄殘されたすべての歌舞伎がさうした成功をしてゐるとは思はれない。而らして、そこ迄成功したものは內容がよし戲曲性の不滿足を示してゐても、それによつて滅亡から救はれる場合がある內容が形式に伴はれて成功した場合は、當然存續すべき筈である。唯、その內容たるや現代劇に見られる樣な、思索的な、知性的なものとは類を異にする。であるから、專ら知性的な要素を內容とするに留まる劇を、現代劇といふべくんば、前の樣な歌舞伎も過去の劇であり、即ち現代に生命なき劇でなければならない。

□

それなら何らいふ形式で存續するか、といふ問題が提出されるのであらうが、これは大問題であると同時に、假初に云々することはつまらぬことだと思ふ。能樂の樣にパトロンによつて保存されるといふ樣なことは簡單に考へらるべきことではなし、當局に對して具陳するといふ樣なこともまだその時期に至つてゐない。具體性のある動議が現れさへすれば、方法はいくらも樹つと思ふのである。

文學親話會
文藝親話會第四回（一）

榮厚 本日は文藝親話會第四回の文學親話會に當り多數皆樣の御來會を得ましたことは誠に喜ばしい次第であります、文學のことは非常に範圍が廣い、狹義に於ても新、舊兩分しなければなりません、今新文學について言へば滿洲國建國以前の頃から申上げますと、中華民國では二十年以來古文學の方面では從來の如く發展してはゐましたが、新文學の方では滿洲は勿論中國でも非常に遲れてゐる狀態で機運があるとみられます、然るに滿洲では次第に新興の機運があるとみられます、併し中國では新文學はまだ發達してゐるとは考へられません、滿洲、中國の現狀はその樣ですが、之れに反し日本では明治以來文學は發展し、最近の刊行物は數十萬部の巨大に達し邊鄙なところにも行き渡つてゐます、例へば日本の漁師は船中でも讀書してゐます、滿洲建國以來六年、日は淺くもあり文學の如きものは政府自らも之れに對する對策は講じて來てゐません、基礎確立するに至り文化協會でも政府の一つの機關として新文學の研究をすゝめてゆきたく、その對策を講ずるため文學親話會を開催しました、で皆さんより將來に對する文學の方向を承りたいと思ひます、新文學には一には小說、二つには歌詞、三つには戲曲の方面があります

板垣 今のお話の中にも新文學は興つてゐないと云はれましたが、私は大ざつぱな見透しとすれば結局これといつて取つて代るものがなければ日本の古文學とは緣を切つて明治の大部分西洋の飜譯時代を經て移植された文學を再認識し大正、昭和となり多く結びついて現在の新文學を構成しましたが滿洲に於ても日本文學を通じて日本によつてかういふ風にして新らしい文學が起つてくるのぢやないかと考へます

湯 私の意見は、今榮厚さんのお話を伺ひますと元來文學には新文學と舊文學とある、事變前に新舊は同じ勢力であつたが、事變後中華民國は新文學の方向をもつてゐる、新と舊と交ぜて進んではどの方面でも害がある、進步が遲い、漢文でも普通の人は七、八年かゝるで滿洲は文化が遲れてゐるのであるから先づ舊文學を捨てゝ新文學にするのが適當と思ふ、座長さんの話によつて新文學は白話文につて劇や歌、小說をやる、がそれだけではたりない、中華民國では昔から白話で書くが効果はない、滿洲はどちらでもよい、新たら新舊なら舊によつて一つにならなくちや、兩方ではいけないと思ふ、それからも一つ方向を決めて貰ひたい

杉村 日本では口語體を用ひたので日本の文學が發達しました、古いもの、文語體でも發表は出來るがそれではいけません、是非白話文をやる、一切白話文とすれば發達が早いと思ひます

湯 だから今までどういふ文體を用ふるか分らない、文化協會あたりで決めてもらへれば

板垣 一應取上げるのは新文學の文體がどんなのがいゝか、それと古文學との關係、それから日本の文學と今まで中華民國にあつた文學とのしつくり行かない點、さういつた點をあげて云つてもらひ、細かに分けて小說がどうの、詩がどうのとそれが伺ひたいです

坪井 事變前は滿洲の特殊階級がどんなものを讀んでゐましたかね、作家はゐないと云はれるが居ればどんなものを書いてゐたでせう

曲 新らしいものでも、古いものでも社會の背景を表はしてゐるから西洋のものでも支那で書いたものでも、總て社會の背景を書いてゐる、それで事變前と後と、どう異ふかといふと前には西洋のも日本のも飜譯したもの、それを白話體で民衆の氣持を書いてゐるが、後には何も來なくなつたが、近頃はぼつ〳〵傳記其他がある、それで新文學の方からは滿洲にはないと云つていゝ、それであるのは歷史のものばかりです

藤山 事變前の評判になつた作家はどんな人ですか、作家の名と評判になつた本の名をどうぞ

曲 ありませんね

藤山 文學の中心は上海ですか

曲 上海です、いま滿洲で書いたのは少しはあるが弱い

奥村 職業小說家はないですが奉天に陳といふ人でしたがその人はたいへん稿料をとつてました、新聞記者ではない、小說家です、六、七年前のことですが

板垣 陳さんが書いたのと上海で書かれたのと異つたところはありますか、ローカルカラーやなにか

杉村 民國の白話運動は北京大學で起り胡適等がやつたのですが、文學者でないから其の發表は少い、併し先づ白話文を提唱した結果新らしいものが書かれ、安い紙で出版されました、最初は白話で書かれた古いものを複刻の時代で引續いて北京大學が中心となり魯迅、周作人の兄弟達が主にやりました、周作人や周樹人は日本文を譯したので飜譯日本文學が起りました、で第一期としては古いものを棄て新らしい試みとして始めた白話文、次に日本文の飜譯、周作人さんの「狂言十種」などが出て賣れ始め次に日本や西洋のいゝものの飜譯が出はじめたのです、上海が新本の本屋の中心であつたので魯迅や周作人程飜譯はうまくはないが最近でも飜譯小說はどん〳〵賣れ多くは上海で出版されてゐます、滿洲では奉天盛京時報の穆さんが非常に文學方面に理解があります

曲 さつき申上げたやうに滿洲には讀むものはありません、支那とは全然異ふんでいつまでも支那のものを持つてくるといふ譯にはゆきません、滿洲流に新文學の戲曲とか小說とか、さういふものをやらなくちや、でも今、日本で第一流の菊池寛のなんか支那でみな譯してゐます（續く）

丹羽の變貌
―「海の色」『文藝』十一月號―

丹羽文雄―この作者も些か題材を變へて來たやうである。

女が主人公であることに變りはないが、これは若い時に妾に出され、やがてカフェに働き男に裏切られ、今は獨身で故鄕の養母、弟などに仕送りをして暮してゐるのだが、ふと歸鄕を思ひ立ち、歸つてみれば養母は男をこしらへてゐる。しかしこれといふ反抗も出來ず、わづかに貰つた土産を歸りの船の中で海へ棄てるといふ話である。もはやあのエロティシズムは何處かに行つてしまつて此處には若い女が世間といふものに向つて示す身振り、表情がたんねんに描かれてゐるのである。これは丹羽の變貌の開始であらうか。いかにも『開始』といつた感じが強く、手慣れた者の世界と違つて、ペンがまごついてゐるやうな具合なのも、更に今後に良い收穫を約束するものならば『可』と評していゝであらう。先づ、これは第二期となつての第一の習作と見て置かう。（川内堯）

滿鐵歌謠二篇當選決定

かねて滿鐵社員會で募集中であつた滿鐵歌謠は十九日夜協和會協館において關係者ならびに一般人立會ひのもとにコンクールを開催し左の如く二篇の當選をみた

△敷いて延した　作者　東京市世田ヶ谷區池尻町五百廿七　森稔

△北はアムール　作者　東京市杉並區高圓寺四ノ九百五十六　太田畔三郎

胃腸の悪い人は 胃腸の故障を除れ！それが何よりの先決問題

健康な人を御覧なさい。敢へて薬剤の力を借らずとも、どんな食物でも消化し、そして榮養も充分に、潑剌たる生活をつゞけてゐます。

（昔） から胃腸は健康の本源と言ひますが、全く胃腸に故障さへなければ、大人も小兒も二度々々の食事だけで、立派に健康が維持できるのです。所が一度、胃腸に故障を生ずると、食物が消化吸收されないのみか、胸やけとか、下痢とか便秘とか、腹痛とか、腹張りなどが現はれ、また、あの恐ろしい疫痢、チフス、中毒症狀等で一命を奪られる事すらあります

（實） に恐るべきは胃腸機能の障碍です。それだけに、胃腸に故障があれば一刻も早くその故障を除り去らねばなりません。また故障が起きさうならすぐにそれを防がねばなりません。

此の目的によつて研究創製されたのが、即ち新胃腸薬、トモサンです。

× × ×

活性、珪酸アルミニューム

トモサンの主剤は、微アルカリ性、活性珪酸アルミニュームです。此の活性と言ふのは胃ばかりでなく腸にも作用し、しかも其の作用は強く、そして何等の副作用がないのが特長です。此の活性主剤は實に我社が多年苦心研究の結果、つひに創製したもので、吾社獨特のものです。

しかも服み易く、値段も全國的に普及するために、非常に低廉としました。

胃腸自身を働かせろ
それが却つて胃腸を丈夫にする！

トモサンは、消化剤でもなければ、榮養剤でも、酵母剤でもまた無論、重曹主剤の胃腸薬でもありません。

トモサンを服んで食慾が出て來るのは、胃の分泌腺が整調されて

消化素の 分泌が正しくなつてくるからです。胃の痛みが無くなるのは、胃の粘膜の糜爛面が治療されるからです。

下痢便が 次第に健康便となるのは、腸内の有害細菌が殺菌され、腐敗醱酵物が體外へ排出されるからです。

胸やけには、胃中の過剰酸を

胃部の壓迫感、腹部膨満感には胃腸内の

有毒ガス を其の薬質中に吸收するトモサン獨特の吸着作用等々……、

「何よりも先づ、胃腸の故障を除れ」と言ふ點に、作用が集注されてあるのが特長です。

そして 故障が除れたら、あとはできる限り、胃腸自身の働きで食物を消化し、その榮養分を吸收する事が、却て胃腸を丈夫にし、眞の健康を保つのであると言ふのが、今までと違つたトモサン療法の本質です。

先づ下痢便か胃酸過多でお試し下さい。

胸やけがする、食慾がない、胃が重くるしく、食後に痛みがある人或は慢性的の下痢便で困る人

この外 酒の飲み過ぎ、甘い物の食べ過ぎで、絶えず胃腸の悪い人は、ぜひトモサンを御試し下さい。必ず今までと違つてゐる効果を、認識する事ができます。

尚ほ トモサンは故障が除れたら服む必要はなく、あとは、飲食物、氣候の關係等で、胃腸に故障の起きさうな時にだけ服んで下さい。それが却て胃腸のためです。

時局下武道の華多彩

大典記念劍道大會 試合組合せ決定
愈よ廿四日大經路小學校に 全滿爭覇の火蓋切る

來る廿四日大經路小學校に於て擧行せらるゝ大典記念第四回全滿武道大會（劍道）は愈よ全滿各地からの申込み締切も終つたので廿一日抽籤を行つた結果左の如く組合せを決定した、尙は當日の式次第は入場式、國旗敬禮、開會の辭、優勝旗返還、挨拶、訓示、選手誓言が型通りあつた後審判長の注意に次ぎ直ちに團體試合に入り、途中大日本帝國劍道の型があり、更に個人試合團體試合を續行、優勝旗授與式あつて午後六時頃閉會の豫定である

△第一回戰（東組）
1、憲兵訓練所―京商B
2、撫順道場B―南滿工專
3、治安部A―產業部
4、瀋陽警察―郵政管理局
5、滿洲炭鑛―京商C
6、大同學院―四平街
7、新京市公署―海拉爾支部
8、大通市―交通部
9、總務廳―首都警察A
10、本溪湖―吉林滿鐵
11、弘道館―奉天道場
12、哈爾濱鐵路局―電業
13、龍江省―濱江省

△不戰一勝
1、興安南省
2、警備需品局
3、關東憲兵隊

△第一回戰（西組）
1、京商A―電々B
2、哈爾濱市公署―新京武道會
3、日滿商事B―撫順A
4、興安東省―京中B
5、經濟部―哈爾濱警察
6、錦州武道會―西安炭鑛
7、中銀―畜產局
8、國際運輸―日滿商事A
9、黑河―新京青年學校
10、大興公司―治安部B
11、京商職員―牡丹江
12、電々A―奉天郵政局
13、京中A―旅順工大

△不戰一勝
1、首都警察B
2、南滿工專
3、內務局

であり、第一回戰に於て一、二、三の勝者は不戰一勝の一二、三と組み三―四、五―六の順で第二回戰を行ふことになつてゐる

鄉軍武道大會
あす八島校で擧行

銃後の第一線に活躍する帝國在鄉軍人會新京聯合分會では鄉軍の士氣を鼓舞するため來る廿三日午後零時半より八島小學校々庭において銃劍、軍刀術の武道大會を開催することになつた、當日の出場選手は十ヶ分會各種目十名宛計二百名の多數に上り盛況が豫想される、なほ大會順序は次の如し

東方遙拜、國歌合唱、優勝旗返還式、競技指示、試合開始（午後一時）試合終了後成績發表について表彰式が行はれる筈

協和會道場 開武道大會
十一月七日擧行

協和會ではかねて計畫中の武道々場（協和會館地下室）の完成を記念して道場開きを兼ね協和會中央本部主催第一回柔劍道武道大會を來る十一月七日午前九時より同道場において華々しく開催することゝなり、各分會ならびに在京武道團體の多數出場を希望してゐる、なほ柔劍道優勝團體には優勝旗を授與するが出場選手は柔劍道とも五名宛で締切

十月卅日限りである

關東局警察官 功勞記章授與者

既報關東局殉職警察官招魂祭は旅順に於て廿二日盛大に擧行するが當日祭典に續いて永年勤續者の表彰並に功勞記章の授與式が行はれ、この功勞記章は警察業務に對し拔群の功あつた人々に授けられる警察官として最高の名譽を象徵するものであるが晴れの授與者は左記四十名で新京署管內に於ては警視藤島署長がただ一人これを受ける榮譽を擔つた

新京署警視藤島宣法、奉天署警部澤村增太郎、撫順署同神生源之助、本溪湖署同井原直美、安東署同小澤壽雄、本溪湖署警部補宮崎智文、鞍山署同菅井圭一、水上署同渡邊熊雄、四平街署巡査花田五郎、開原署巡査部長飯塚政伍、奉天署巡査大川秀春、同高橋武義、同角滿懸三、同巡査部長桂裕次、撫順署巡査鈴木源、同巡査部長森永徹、本溪湖署同茂木亮治、同藤川俊一、同巡査小林仙裕、同城倉榮樹、同吉川政志、同中野文雄、同猪俣信一、同松本源三郎、同松浦薰、鳳凰城署巡査部長勝吉榮熊、巡査萩原泰治、同川崎喜作、同末永豐彥、同表勝、同白城虎松、同寺崎實穗、安東署巡査部長林田政人、同柿山末喜、同巡査石井己之助、同飛田力藏、同韓泰會、鞍山署同角田忠太郎、同富士美嘉雄、大石橋署同佐々木覺

爲替管理法强化 座談會終る

新京商工會議所主催の爲替管理法强化に關する座談會は關東局より當事者を迎へて市內一般商工業者約七十名の出席を得て廿一日午後二時三十分より公會堂會議室に於て開催された、先づ同所寺內副會頭の挨拶の後關東局三浦事務官は今回の日本の爲替管理法强化に對して日滿一體上の見地より關東州及び滿洲國に於ても十月八日より同法を追隨して施行された經過を報告索後品國產品にて代用可能品等は不許可方針、軍需品產業擴充上の必要品は許可方針にて一般必要品の制限程度等について述べ次いで關東州廳石原財務課長は同法を詳細に數十分に亘つて說明をなした、後一般出席者よりの質疑に對し應答並びに懇談をなして同法强化の一般商工業に對する影響の調査上に多くの參考を與へて午後四時三十分閉會した

日滿軍警に贈る 市民慰問袋募集
あす協和會で具体策決定

國婦新京支部、滿洲國國防婦女會首都本部、特別市公署、協和會首都本部が主催して滿洲治安の重責に任ぜる日滿軍警に感謝し併せてその勞を慰めるため三萬個を目標に全市民から慰問袋を募集することゝなりこれが具體的打合せ會議は二十三日午後一時から協和會館で開催される

日本人に對する 工作が足らぬ
本庄將軍、協和會訪問談

協和會の生みの親たる本庄繁大將は關東軍片倉少佐同道で二十一日午後三時頃協和會員多數の歡迎裡に協和會中央本部を訪問、應接室において甘粕總務部長及び田邊首都本部長より最近の協和會運動に關する說明を聽取後約一時間にわたり膝を交へて懇談をなし同四時辭去したが、席上將軍は各地の協和會縣本部視察の結果につき左の如き感想を洩らし協和會運動の將來に重大な示唆を與へた

各地で協和會の運動振りを見、また會に對する批評も聞いたが協和會のやうな組織が必要であることが一般に認識されて來たことはこの運動がいよ〳〵本格的になつた證據であつてまことに欣快に堪へぬ、またこれを裏書する如く協和會の內容もだん〳〵よくなつて來てゐる、たゞ自分が感じた點を二、三擧げれば協和會運動は滿洲人や朝鮮人には大分徹底して來たやうであるが、日本人に對する工作がまだ足りないやうに感じられた、また協和會は將來の大成を期するために仕事の方面において他人の領分を侵さぬやう充分氣をつける事が必要であると思つた

凱旋の興安軍部隊長に 星野長官祝電

二十一日朝〇〇の原隊に凱旋した興安軍部隊長に宛て星野總務長官は左の如き祝電を送つた

日支事變勃發以來東洋和平のため日本軍と協力し各地に轉戰、連戰連勝幾多の功績を擧げ赫々たる武勳に輝き目出度凱旋せらるゝに當り衷心より祝意を表すとゝもに將兵各位の御辛勞に對し深甚なる敬意を表す

永遠の繁榮祝す
溥傑 浩姬 結婚披露宴
昨夜軍人會館で擧行

今春四月三日神武天皇祭の吉辰をトし華燭の典を擧げられた滿洲國皇帝御弟君溥傑上尉と嵯峨實勝氏の長女浩姬夫妻の婚禮披露宴は二十一日午後六時より日滿軍人會館において盛大に催された、この日は文官のみの招待で溥傑上尉夫妻を祝福する來賓は日本側より關東局總長武部六藏氏、澤田大使館參事官、滿洲國側より張國務總理以下各大臣、臧參議府議長以下各參議、星野總務長官をはじめ民間側より山口滿鐵新京支社長以下各特殊會社、銀行關係者及び名夫人等の文官のみ二百五十名出席した、會場正面には金屛風シャンデリアに映え綠濃き相生の松は溥傑氏夫妻の永遠なる幸を象徵してゐる、中央には滿洲國陸軍上尉の禮裝も凛々しく、浩姬の文金高島田振袖姿もけふを晴れと美しい、その左右には媒酌人たる男爵本庄繁陸軍大將、同ムメ夫人、嵯峨實勝氏、同南加夫人、宮內府大臣熙洽氏等いづれも戰爭なる裡にも歡びの色を滿面にたゝへて控へてゐる、午後六時四十分一同着席するや、媒酌人本庄大將起つて新郎新婦を紹介し溥傑上尉の日本陸軍士官學校において滿洲出身學生中最優秀で天稟高邁優雅なる人格を讚へ、浩姬の名門の生れで明朗貞淑なる稀に見る性格を語り、實に日滿兩國一德一心を具現するかの如き良き配偶であり、千代變らざる御繁榮を衷心より切望する旨の挨拶を述べ、次いで張國務總理起つて祝詞を述べ、奏樂裡に開宴し、東條參謀長起つて祝盃を擧げ一同またこれに唱和し、幾千代變らぬ同家の繁榮を賀して午後八時半頃目出度く宴を終つた【寫眞は婚禮披露宴】

順天小學校生徒が 國防獻金寄託
全校生徒の心からの捧げもの

二十一日午後本社へ訪れた順天小學校生徒一同を代表しての六年生、友廣康夫、嘉悅俊夫、池田義金、藤原浩一の四少年は小野寺訓導と同伴、同校生徒の零細な醵金十六圓十四錢を國防獻金に寄託した、小野寺訓導の語るところによると、この醵金は手工の時間に各學級に備付の獻金箱をこしらへて配付し獻金帖を添へ「ドウシテ得たお金か」といふことを記入せしめ徒らに競爭的に獻金などせぬやう特に注意し各自が非常時の意義を悟り、自發的に冗を省き或は節約したものを入れることにしたもので、先頃の國民精神總動員を機に一先づ精算を行つたもので、獻金箱に添へた獻金帖を見ると

馬車に乘るのを思止つた、買物の殘り、バスに乘るところをやめて、親類のオバさんから貰つたお金、切手を買つてあまつたお金、買物のツリ錢を、おつかひに行つて貰つたお金、お母さんに貰つたお金など書き込んであつて、一錢から最高十錢までの零細な金がつもり積つた

同校生徒一同の心からの捧げものである、尙この外、煙草の銀紙約一貫匁、煙草の吸殼約一貫匁、屑鐵九貫匁は國防婦人會新京支部長星野夫人の手許へ送つたさうである【寫眞は順天小學校生徒代表と小野寺訓導】

滿洲防空協會へ 內地諸會社寄附
總額五十七萬餘圓

滿洲防空協會では豫て日滿實業協會を通じて日本內地の滿洲に關係を有する各種事業會社に對し防空施設費の寄附金募集中のところ、廿一日同協會に十月七日現在で早くも五十七萬三千圓の應募申込があつた旨通知があつた、なほ各社の寄附金申込額は左の如し

△十五萬圓―三井合名會社△十五萬圓―三菱合資會社△五萬圓―合名會社大倉組△三萬圓―王子製紙株式會社△一萬圓―東亞煙草株式會社△一萬圓―大日本麥酒株式會社△五千圓―麒麟麥酒株式會社△三千圓―大日本醸業株式會社△三千圓―東亞興業株式會社△三千圓―東洋拓殖株式會社△三萬五千圓―明治製菓株式會社△三萬圓―明治製糖會東京事務所△一萬圓―日本銀行△一萬圓―日本勸業銀行△一萬圓―中島飛行機株式會社△一萬圓―日本興業銀行△二千圓―株式會社明電舍△四萬圓―橫濱正金銀行△一萬圓―株式會社第一銀行△一萬圓―古河電氣工業株式會社△合計五十七萬三千圓

明治節奉祝の 軍歌打合會

十一月三日明治節奉祝行事の一つ〃記念講演と軍歌映畫の夕〃の細部に關する打合せ會は廿一日午後一時から滿鐵新京支社會議室で開催、滿鐵附屬地中小學校代表者參集種々協議の結果當日は午後七時から軍歌に移り京中京商の拔刀隊、敷島、錦ヶ丘兩高女と青年學校女子部の露營の夢、西廣場、室町の關東軍、公學校、普通學校の非常時日本（三笠、八島、白菊、櫻木、順天は未定）滿鐵醫院看護婦の婦人從軍の歌を各校選拔歌手によつて歌ひ最後に〃日本陸軍〃を齊唱して終了の豫定である

藝妓悲し！
父が死んでも歸へれぬ

料亭南海の藝妓菊代さんは親一人子一人のわびしい身でその一人の父親は渦殿鄉里宮崎縣東臼杵郡土呂村で遠い娘の身を案じつゝ亡くなつてしまつた、たつた一人の父親だせめては瀨ひにもと菊代さんは樓主に對し歸國を願ひ出たが前借二千五百圓の身で逃亡の恐れありとの理由に無情つつ放されてしまつた、では警察の證明付きでと必死の氣持に事情を申出で當局のとりなしもあつたがそれもはかなく希望は入れられなかつた、せんすべもなく泣くより仕方のない菊代さんは三日三晩泣いて泣いて泣き明かしたさうだ

新京鄉軍副長 井上氏決定

在鄉軍人新京聯合分會副長は前任者宮原常好氏が綏化興銀支店長に榮轉以來缺員中であつたが、廿一日井上猪三郎氏（步兵中佐）が就く事に決定した

六大學リーグ戰
法政 3―1 立教

【東京國通】法立二回戰は三對一で法政の勝となつた

△バツテリー
法政 三森、有請―村上
立教 小山、石田―成田、町田

△スコア

法政	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3
立教	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

フレンソング

國務院のゲーリー・クーパー古海主計處長は明年度豫算編成に當り特に本年は戰時體制を布く關係上、眼の廻るやうな忙しさ▲あの手、この手で豫算分捕りを企圖する各部經理擔任者をあのアゴと心臟を以て人形のやうに操るのだから相當なもの▲ゲーリー・クーパー主演「海の魂」の試寫をみるとジョンバリの「海の野獸」と相似たスリルとスケールを有つて最後に火災を起した船上に活躍するクーパーの立廻りは丁度貧乏豫算を縱橫に切廻す古海クーパーそつくり▲うそと思ふ人は「海の魂」をみて古海處長の働き振りと比較すべし

天氣

けふの天氣　南西の風晴時々曇り
日の出　前七時一分
日の入　後五時四十五分
月の出　後七時十八分
月の入　前九時四十分
きのふの氣溫　最高一七度　最低零下〇度七

日系警士募集要綱

一、採用人員
約二〇〇名（日本內地並滿洲國內より）

二、應募資格
1、年齡概ね二十二歲以上二十八歲以下の者
2、軍隊敎育若は青年訓練所又は學校敎練を終了せる者
3、中學三年修業程度の學力を有する者
4、五年以上の勤續の見込ある者

三、應募手續
1、提出書類（ニ、ホ、ノ書類は受驗後提出するも妨なし）
イ、願書　ロ、履歷書　ハ、寫眞　ニ、戶籍謄本
ホ、父母の同意書
2、書類提出場所
イ、哈爾濱、奉天、受驗者は同地省公署警務廳警務科
ロ、新京、受驗者は治安部警務司警務科（人事股）
ハ、大連受驗者は當日試驗場に午前八時迄に持參すること

四、試驗日時及試驗場所

日時	試驗地	場所	開始時間
十月廿八日	新京	中央警察學校	午前九時
同廿九日			
十月卅一日	哈爾濱	哈爾濱地方警察學校	同
十一月一日			
十一月三日	奉天	奉天地方警察學校	同
同四日			
十一月七日	大連	大連警察署講堂	午前十時但、第二日は午前九時
同八日			

五、試驗科目
第一日（學科）作文　算術　地理（日本、世界）　歷史（日本、東洋）　常識
第二日（學科試驗に合格したる者に對し行ふ）口頭試問　體格檢查

諸給與
1、敎養中は中央警察學校寄宿舍に收容し每月五十圓（朝鮮人に在りては四十五圓）を支給す
2、卒業後の俸給は七十五圓（朝鮮の人に在りでは五十五圓）とす

警務司警務科

新京區公示第二十二號

新京附屬地荷馬車通行取締規定左記ノ通制定セラレタルニ付公示ス
昭和十二年十月一日
南滿洲鐵道株式會社
新京支社地方課長事務取扱　菅野誠

記

新京附屬地道路ヲ專用道路ト制限道路ノ二種ニ區分シ左記ニ依リ荷馬車ノ通行ヲ制限ス
一、專用道路ハ荷馬車ノ種類索引馬ノ頭數ヲ問ハス自由ニ通行シ得ルモノトス
二、制限道路ハ鐵輪荷馬車ノ通行ヲ絕對ニ禁止シ左記ニ該當スル荷馬車ノミ通行ヲ許可ス
イ、ゴム輪（又ハ之ニ準スルモノ）ナルコト
ロ、積載量壹噸半以下ナルコト
ハ、索引馬ノ頭數ハ壹輛ニ付壹頭ナルコト
但シ驛前廣場ノミハ荷馬車ノ通行ヲ禁止ス
三、六米突以上ノ長大物ヲ運搬スル場合ハ荷馬車ノ種類通行道路ノ如何ヲ問ハス警察署ノ許可ヲ受クヘシ
四、荷馬車以外ノモノニシテ道路ヲ破損セシメ又ハ通行妨害ノ虞アルモノノ通行ニハ許可ヲ受クヘス
五、本規定ハ昭和十二年十一月一日ヨリ之ヲ實施ス
昭和十二年十月一日
新京警察署
滿鐵新京支社

義人長七郎

(錦上映畫化) 中川雨之助
竹枝一郎畫

(七十九)

どん栗長屋（四）

それから三人連れだつて、裏の井戸端へ、手水を使ひに行くと、集まつてゐる長屋の女房連中が長七郎を見て大騒ぎです。

「まあ、チョイト御覧、目の覚めるやうな好い男子」

「まつたく、歌舞伎役者の澤村四郎五郎に生寫しだよ」

「傳山さん達のお仲間にしては、飛びはなれて服装が立派過ぎるぢやないか」

「同じ浪人さんでも、あゝも違ふものかねえ。あゝして並んだ處を見ると、珠と瓦、傳山さんに榊形さんは、今朝は餘計に汚なく見えるぢやないか」

と、陰口とりどり。

そこへ三人がやつて來ると、人氣は怖ろしいもので、

「あたしが水を汲んで上げませう」

「アラ嬉い。釣瓶へ引たくるてえ法がありますか、水ならあたしが汲んであげますよ」

と、長七郎のために、内輪揉めが始まりさう。

羨ましいやら口惜いやら、ノロ兵にチビ三の兩人は、呆氣に取られて見てゐます。

顔を洗つて戻つて來ると、長七郎は兩人に向つて、

「偖て改めて相談がある。當分の間、予も當家で一緒に暮したい。そち達に決して不自由はさせぬからどうかそのつもりで居てもらひたい」との話。

「然らば、此服装では、どうも面白くない。どうぢや傳山、そちの着類と、予の着類と取替へて呉れぬか、ゆき丈も、ちやうど合ひさうぢや」

「それは有難い。早速取替へよう」

と、兵十郎は大喜びです。汚れた木綿ものと、下から上までゾロッとしたお召ぐるみとの交換だもの、これは喜ぶのが當りまへです。

そんな話しをしてゐると、突然ドシン、といふ地響き。地震かと思ふと、續いて隣から女の泣き聲で。

「あれえ、どうか助けてえ」

と、いふのが聞えて來ました。

隣の騒ぎが、あまり激しいので兵十郎、三平太の二人が出かけて行くので、長七郎もその後からついて行きました。

もう長屋の連中が七八人、戸外に集まつて、氣の毒相な顔をして、ひそひそ私語き合つてゐます。

その人達の話を聞くと、同じ本所の丸太橋に住んでゐる博徒の親分で、修験者の馬五郎といふのが、子分を連れて來て、貸した金の抵當に、娘のお喜代を連れて行かうといふ騒ぎなのです。

「可哀相に、お母さんは永々の病氣だし、弟の亀吉はあの通りの白痴だし、お喜代さんが連れて行かれてしまつたら、お母さんと亀公は餓死をするだらう」

「ひどい奴は、あの馬五郎ですよ。山伏上りの博奕打で、綽名を修験者の馬といふんですが、吝嗇で無慈悲で、別に法螺吹の馬だの、暴れ馬だのと呼ばれて困る世間の憎まれ者ですが、顔に似合はぬ助平野郎でね、涎を垂がしながらお喜代さんに底根惚れ込んで、家へ連れて行つて玩弄にしようといふ魂膽なのでさあ」

「可哀相に、誰か助けて遣る者はないだらうかね。アレ病氣のお母さんを足蹴にかけて、酷いことをしやがる……」

長屋の者の口々の噂の中へ。

「お願ひです、親分さん、どうぞ娘を連れて行くことだけは、御勘辨なすつて」

と、母親の消え入るやうな聲。